



B.O.M. newsletter

BLUE GRASS & OLD TIME MUSIC

6-5-18 Kawano, Takarazuka, Hyogo 665 Japan. Phone. 0797-87-0561. Fax. 0797-86

Bluegrass
PICK IT UP!



B.O.M. Newsletter #398web

2013年12月16日

今年も残りわずかとなりました。世界中があたらしい価値観を模索している21世紀、ほくらの音楽が生まれたアメリカは宗教戦争とも呼べそうな危うい綱渡りをしながら、それでも黒人大統領を生み、核廃絶を謳い、なんと今年6月に米国連邦最高裁は、婚姻を男女の関係に限定した「結婚防衛法」を違憲とする判決を出しました。人種差別やキリスト原理主義国といった20世紀を支配した米国のイメージを（経済／マネーに関して以外は）根底から覆すような時代になっています。

……で、ブルーグラスもここ最近、素晴らしい動きが吹き出しはじめています。そんな息吹が感じられるアルバムが、新旧さまざまなサウンドをまとうて次々と紹介されてきました。自分の愛するベースとなるものを大切にしながら、あたらしい名前や試みを面白がる……。40年ほど前、ニューグラスと呼ばれた音楽を歓迎した人たちは次々と還暦を迎えるこの頃、どっぷりと浸かった20世紀の社会／世間の価値観は取りええずどっかに置いて、21世紀のあたらしいブルーグラス（守旧サウンドを含めて）に、新鮮にホクホクしませんか？

もうすぐ始まるあたらしい年、もう一度、音楽青春しませんか？ 仲間と素材は揃ってるよ……!?

バンジョーカレンダー 2014

BJC-2014 ROB LARDIE 『Banjo Calender 2014』 特価 ¥2,888- (本体 ¥2,750-)

今年のカレンダーは「バンジョーカレンダー」！ 30cmLPサイズの見開きで壁に掛けられ縦60cm。1月のシンプルな、しかし斬新なアイデアとデザインのボックスバンジョー社のミニストレル・バンジョーから、12月のレコーディングキング社の最高級インレイ「1000 Deluxe Special」まで、現在アクティブなバンジョーメーカー12のブランド自慢の製品をグラフィックデザ

イナー、ロブ・ラーディーがカレンダーにまとめ上げた。曰く、「世の中に数あるギターカレンダーを横目に、毎年シーズンになると悔しい思いをしていたけれど遂に今年、バンジョー好きの夢を叶えました！……もちろん、わたしはバンジョー奏者です!!」と。有名バンジョー奏者の誕生日やバンジョー関係の大きな出来事も記されている。バンジョー奏者のみならず、部屋のインテリアとして、またギフトにも最適です。

◆月刊ブルーグラスジャーナル「ムーンシャイナー」、先月から31年目に突入！

最新12月号(MS-3102 ¥525-)は、IBMA (WoB) 2013リポート「ノースカロライナってどんなところ?」、女子大生の見た「ワイドオープン・ブルーグラス」、タヒチクラブ「新春★浪花 米国南部系ルーツ音楽祭」、愛媛・朝倉ブルーグラスの25年、馬渡 浩の札幌ブルーグラス物語②、知っておきたい...#5「フラットピッカー達」、日本ブルーグラス年表#70「1978年」、3大学対抗！年忘れライブ酪農学園大学「花村彩音」ほか、日米ブルーグラス情報満載の40頁!!

月刊ムーンシャイナー定期購読は1年間(12冊) ¥6,000- 半年間(6冊) ¥3,300-。単冊 ¥525- (送料 ¥76-)。定期購読は購読開始希望月をお知らせくだされば早速お送りします!! また情報提供、そしてご自由なテーマでのご寄稿など……、なにとぞムーンシャイナーにご協力を、よろしくお願いします！

年末年始におススメ図書！

便利な世の中になったとはいえ、やっぱり印刷物として持っておきたい本があります……！

MS-BACK10 月刊ムーンシャイナー "Back Numbers" ! 10冊組特価 ¥3,000-

月刊ムーンシャイナー、どこを切り取っても日米ブルーグラスの話題と情報満載、様々な刺激を受けること請け合いです。バックナンバー(ランダム10冊組特価 ¥3,000-)はいかがですか？ また、興味ある特集モノや

お宅の本棚欠番など、ご指定のバックナンバーの組み合わせも、在庫のある限りご要望に応じます。この機会にあなたのブルーグラス、「失われた〇年」を取り戻しませんか……？

OTH-BACK10 Old Time Herald "Back Numbers" 5 冊組特価 ¥3,000-

米国ルーツ音楽のとても素晴らしい隔月刊誌。アメリカ音楽のもっとも原初的な興味や研究には必読の書。ご注文いただければ、ランダムにバックナンバー 5 冊を選んでお送りします。また、興味ある特集モノやお宅の本棚欠番など、ご指定のバックナンバーの組み合わせも、在庫のある限りご要望に応じますのであ、お問い合わせください。

BOOK-27 BILL MONROE 『Father of Bluegrass Music』 日本語＋英語対訳本 ¥1,995- (本体 ¥1,900-)

1993 年製作のドキュメンタリー DVD 映像『ブルーグラスの父』（監督はジョン・レノン “Imagine” などで行われるスティーブ・ゲブハート＝本作のために特別寄稿している）の英語と日本語対訳本です。モンロー自身が語る故ジョン・ハートフォードとのインタビューを軸に、エミルー・ハリス、リッキー・スキヤッグス、マーティ・ステュアート、ジェリー・ガルシアやロイ・エイカフらのモンロー評や、そしてソニー・オズボーンをはじめデル・マッカーリーやビル・キースらブルーグラス・ボーイズらの生々しい証言などで、人間モンローが浮き彫りにされる。レスター・フラット、エミルー・ハリス、ポール・マッカートニー、ドリー・パートン、そしてデル・マッカーリー／ビル・キース／チャビー・ワイズのブルー・グラス・ボーイズ・リユニオンなどとの貴重なライブ映像も秀逸。DVD に関しては在庫をお問い合わせください。

BOOK-51 Andrew Vaughan 『JOHN HARTFORD: Pilot of a Steam Powered Aero-Plain』 Book+CD¥5,145- (本体 ¥4,900-)

すばらしい！ジョン・ハートフォードの半生、つまり 1971 年の重要なアルバム『Aereo-Plain』に至るまでを、すばらしい写真と文、レイアウトで綴った 112 頁 A4 変形版、アンドリュー・ボーン著のハードカバー上製本。ハートフォードファンは有無を言わず必携だ！ オマケの CD は 1994 年 7 月 12 日、ナッシュビルのライマン公会堂で、パッサー・クレメンツとタット・テイラー、そしてトニー・ライスを従えたコンサートライブを収めたもの。1953 年のある日、ラジオから聴こえてきたフラット＆スクラッグスの “Dear Old Dixie”、そのレスターのドライブに、アールの殺気立ったバンジョーを聴いた途

端、「なんなんだ！これは!!」と……、そののちの多くの人が経験する人生の転機を、世界で最初に得た 1937 年生まれグループのひとり、それからほぼ 20 年間、天才的な仕事を残したジョン・ハートフォードを見事にまとめあげた大秀作。英語なんて、読まなくていい、この素晴らしい写真の数々を眺めているだけで、あなたはジョンの人生を共有できる。ハートフォードヘッド有無を言わず必携の一冊である!!

BOOK-46 TONY RICE 『Still Inside』 Book315 頁 ¥3,990- (本体 ¥3,800-)

ブルーグラス・ギターの世界を変えてしまった偉大なトニー・ライス。彼のすべてが本人の口述と、家族や友人たちの証言によってつづられる究極の伝記本。

BOOK-49 『THE JIM KWESKIN JUG BAND REUNION TOUR 2013 記念パンフレット写真集』 ¥2,675- (本体 ¥2,500)

結成 50 周年を記念して 4 月に日本公演を行ったジム・クエスキンのジャグバンドのツアー記念の特別パンフレットが限定数入荷しました。未発表を含む 70 点以上の写真がすごい、豪華 68 頁!! メンバー全員のディスコグラフィも充実しています。若き日のジムとジェフ・マルダー、そして歌姫マリア・マルダーに故フリッツ・リッチモンド、ブルーグラスからのリチャード・グリーン、そしてビル・キース等々、フォークリバイバルの貴重な資料となること請け合いです。ライブ会場で飛ぶように売れてました。会場で買い逃した皆さん、足を運ばなかった皆さん、この機会にお買い求め下さい。

お勧めクリスマス作品

(その他、各種クリスマス作品の在庫については、お問い合わせください。)

RCH-2016 V.A. 『Christmas The Mountain Way』 CD+DVD¥2,888- (本体 ¥2,750-)

Joy to the World/Silent Night/In the Sweet By and By/Away in the Manger/Go Tell It on the Mountain/Amazing Grace/Jingle Bells 他全 14 曲

ブルーグラスクリスマスの DVD 映像と CD 音源のお徳用セット！ 10 月に来日したマイク・スコットをホストに、5 度の IBMA 最優秀女性ボーカルを獲得したデイル・アン・ブラッドリーや、ドイル・ローソンのクイックシルバーからマウンテンハート、グラスタウンなどを創ってきたスティーブ・ガリー、アーリーブルーグラスの名曲発掘でトラッドグラスの王道を主張するオウディ・ブレイロック、人気カントリーグループのシェナンドーから古巣のブルーグラスに戻ってきたマーティ・

レイボンなどのボーカルを、ブルーハイウェイのジェイソン・パールソン (bj,g)、クリント・ハード (m)、ブランドン・ゴッドマン (f)、ビック・グレイヴズ (d)、ブライアン・ターナー (bs) らが基本バンドで、ケンタッキー州パインビルのベルシアターでケーブル TV 局「ブルーハイウェイ TV」のために収録されたクリスマス特別番組を音と映像（コンサートとアーティスト・インタビューも含む）で収めた徳用盤である。デイルアンとスティープによるタイトル曲につづいて "Joy to the World" から "Silent Night" ほか、次々とクリスマススタンダードがブルーグラスで演じられる音と映像で楽しめる作品。

HMG-1010 DONNA ULISSE 『All the Way to Bethlehem』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

女性ブルーグラス・シンガー／ソングライターとして確実なキャリアを重ねるドナ・ユリッシー、イエス・クリスト誕生にまつわる物語を、共作も含めた全曲オリジナルで仕上げた力作。いつものようにキース・ソウエル (g,bj) を軸に、アンディ・レフトウィッチ (f,m)、ロブ・アイクス (d)、ビクター・クラウス (bs) らにジョン・モックのティンウィッスルなどアイリッシュ風味を効かせたアパラチアン・ケルト系サウンドといった落ち着いたアコースティック・アンサンブルで、癖のないキュートなボーカルを聴かせる。

ROU-9153 JAY UNGER & MOLLY MASON 『A Fiddler's Holiday』 CD¥2,363 (本体 ¥2,250-)

オールドタイム・フィドラーとしてはもっとも成功したひとり、ジェイ・アンガー。今やスタンダードとも言えるワルツ名曲 "Ashokan Farewell" (本作にも収録) を書いたことにより、クラシックとトラッドを組み合わせた交響曲などでも活躍している。本作は、そんなジェイと妻のモリー、そしてニューヨークブルーグラスの現代版ウェイファーリング・ストレンジヤーズでも活躍した娘ルーシー・アンガーとその夫マイク・メレンダ（ふたりはフォークロックのマママルズのメンバー）の4人が中心になって、バージニア州フレデリックスバーグにあるメアリー・ワシントン大学シンフォニー・オーケストラ（ケビン・パートラム指揮）をバックにクリスマスを中心にした冬のホリデイシーズンをテーマにしたライブ作品。スコティッシュやフレンチのトラッド・フィドルや、ジェイとモリーのオリジナル ("Ashokan..." を含む) ほか、インストとボーカルをバランスよく混ぜながら、最後のケイジャン／クリオール風 "Silent Night Two Step" まで、ちょっと豊かな気分のオールドタイム・フィドルが楽しめるコンサートのライブに仕上がっている。

■全国イベント・カレンダー

以下、ムーンシャイナ誌 12 月号に寄せられたイベントです（個別バンドのライブ＝来日＆国内ツアー／企画物以外＝は誌面にて）。

日本のブルーグラスコミュニティを元気にする標語は、「Buy Studio Releases! ...and Go to Live Shows!!」。……日本ブルーグラス・コミュニティを元気に、楽しく…!! ムーンシャイナ広告の日本企業をよろしく、ね!!

◆ 12 月 18 日（水）大阪「吉津正司一周忌の集い／川瀬、オッピー今富、国分」東淀川、オッピドム 06-6151-8106

◆ 12 月 19 日（木）愛媛「松山ブルーグラス会」松山市一番町、Y's Cafe（ワイズカフェ、089-933-5075）（問）扇 輝幸 chainbanjohhighpine@gmail.com

◆ 12 月 21 日（土）東京「石川修次／原さとし／青木研、『世界の民族音楽を聴く……バンジョーの響き、その誕生から現在まで』」明治大学駿河台校舎、14 時、¥1000-。（問）明治大学リバティ・アカデミー 03-3296-4423

◆ やぎたこ ルーラルアメリカンな男女オールドタイムデュオ

12 月 21 日（土）松本 マイシャトー 0263-86-0959

12 月 25 日（水）湘南台 中華三番 0466-45-3777

◆ 12 月 21 日（土）京都「大谷大学アメリカ民謡研究部第 27 回定期演奏会 "Merry Bluegrass"」宝ヶ池・ホンキートンク (075-701-8015)。13 時半開演、入場無料

◆ 12 月 28 日（土）兵庫「年忘れ 3 大学ブルーグラス：ぼんかん（神戸大）、名大ステーション（名古屋大）、The Hammonds（東北大）」神戸、James Blues Land (078-371-2720)、19 時。MS12 月号特集参照

◆ 1 月 4 日（土）東京「第 5 回ディスカバー小平／ブルーグラスコンサート」小平市中央公民館ホール (042-341-1211)。12 時～17 時。¥1000。（問）ササキジン 090-3917-3672

◆ 1 月 11 日（土）大阪「新春浪速★米国南部系ルーツ音楽祭」千日前、アナザードリーム 06-6211-5759。14 時、前 ¥3000- 当 ¥3500-。出演：タヒチ倶楽部 from 東京、マーベラス桜井とホット・フィドル・バンド、ラグパパス・ジャグバンド、千日前ブルーグラス・アルバム・バンド。（問）秋元 0797-87-0561

◆ 1 月 12 日（日）大阪「新春吉例：大阪ブルーグラスナイト・プレゼンツ『冬フェス 2014』」千日前、アナザードリーム 06-6211-5759。参加費 ¥2000-。（問）秋元 0797-87-0561、shina@bomserv.com

◆ 1 月 25 日（土）埼玉「第 7 回所沢カントリー（BG）ミー

ディング／新春所沢カントリーチャリティ音楽祭 2014」
所沢市並木公民館多目的ホール 04-2998-5911。12 時、
¥500。(問) 田沢 04-2942-0552

新入荷ダイジェスト

(より詳細な解説があるスタッフお勧め作品もあります。
収録全曲目やアーティストの基本情報なども含む詳細解
説はレターの最後尾「月刊ムーンシャイナー」誌紹介の
後ろです)

■ブルーグラス新入荷

REB-1854 JUNIOR SISK & JOE MULLINS『Hall of Fame Bluegrass!』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

話題の超トラッドシンガーとビッグバンジョー、ジュニア・シスクとジョー・マリンス、ふたりの「これぞアーリーグラス!」の大秀作。1950 年代、ようやくビル・モンローとフラット&スクラッグスのフォロワーとなった米東南部のミュージシャンたちが創ったスタンダード名曲たち、“Wild Mountain Honey”、“Bluebirds Are Singing for Me”、“I’ll There, Mary Dear”、“Brand New Shoes”と 4 曲つづけられれば「参った!!」。ジェイソン・カーターの入魂フィドル、ジェシ・ブロックの頭脳マンドリン、そしてマーシャル・ウィルボーンの落ち着いたベース。ジュニアとジョーのデュオをメインに曲によってはトリオやカルテットもある。まさに知る人ぞ知る大推薦の「夢のアーリーグラス協演名曲集」。ブルーグラス詳細解説参照

MCM-0017 DEL McCOURY BAND『Streets of Baltimore』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

まぎれもなく現在、最高のブルーグラスバンドであるデル・マッカーリー・バンド最新作。もちろんデル不滅のハイロンサム魂あってこそだが、何と言ってもジェイソンのフィドルのすばらしさが群を抜く。そして息子ロニーの老成!? しつつある落ち着きに見られる後継者としての覚悟と自信、もちろんロニーのバンジョーも父の魂を深く理解する。トム・ポール・グレイザーとハーラン・ハワードの作品をタイトル曲に選び、スタンダード曲“Misty”や“Only You”をブルーグラスしてしまう偉大なデルのセンスは、全編のユニークな選曲のちいかわなく発揮される。まさに 1960 年代、全盛期を迎えた頃のフラット&スクラッグスのスタンスとまったく同じ、第 1 世代からのブルーグラスの本質をもっとも現在に伝える、最高のバンドの今、21 世紀ブルーグラス作品である。ブルーグラス詳細解説参照

ROU-9134 JAMES KING『Three Chords and the Truth』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

タイトルがその音楽の本質を語るジェイムズ・キング最新作。ロン・スチュワート (bj)、ジョッシュ・ウィリアムズ (g)、ジミー・マッティングリー (f)、ジェシ・ブロック (m)、ジェイソン・ムーア (bs)、そしてダドリー・コンネルとドン・リグズビーのハーモニー隊とともに、ハンク・ウィリアムズからジョージ・ジョーンズ、ドン・ギブソン、ハーラン・ハワードほか、カントリー巨匠ソングライターらの名曲を見事なハードドライビング・ソリッドグラスにして聴かせるトラッドグラス秀作。ブルーグラス詳細解説参照

REB-1847 CHRIS JONES & THE NIGHT DRIVERS『Lonely Comes Easy』 CD 2,573-(本体 2,450-)

ブルーグラスを大学カリキュラムに取り入れた最初のサウスブレイン大学でロン・ブロック、マイク・バブ、故ブッチ・バルダサリらと共にウェアリーハーツで、ボストン時代には有田純弘らボストンアコースティックバンドで活躍、そののちナッシュビルに移り自身のナイトドライバーでギター & ボーカルを務めるクリス・ジョーンズ。ソングライターであり、人気の衛星放送ブルーグラス番組 DJ としても多才振りを発揮している最新作。1999 年に日本でブルーグラスを知ったというウィル・マリニングと在日フィドラーのクリス・ホスキンスとともに来日ツアーをしたマーク・ストフェルのデリケートなマンドリンのほか、ネッド・ルベレッキ (bj)、ジョン・ワイズバーガー (bs) といった、現在の米国ブルーグラスを、ある意味、「牛耳って!」いる人たち (ネッドはクリスとともに人気 DJ で、ジョンは評論家にしてソングライター) を中心にしたバンド。

MFR-130219 VOLUME FIVE『Run』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

ミシシッピを本拠にするというボリュームファイブの最新第 3 作。メチャクチャにクリスプでエッジ立ちまくりの、呆れるほど今風ソリッドグラスである。とにかくその……全員のスーパーピッキンぶりたるや……ほかのどの若手バンドも同様だが、とくに彼ら、どいつもこいつも!、メジャーバンドでも即戦力だ。詳細紹介しようと思ったが、各人の情報不足にて、この新入荷紹介だけにとどめておこう。リーダーはフレキシブルなグレン・ハレル (f) のほか、ソリッドなりリズムをキープ、歯切れいいジェシー・ダニエル (m)、音キレと指離れの気持ちいいパットン・ウェイジス (bj)、クリス・ウィリアムソン (bs)、ジェフ・パーティン (g,d)。バンドメンバーによるオリジナル 5 曲と、ダラス・フレイジャー “Son of Hickory Holler’s Tramp” やエド・ブルース “See the

Big Man Cry”などカントリー中ヒットのほか、最後の4曲にはジョン・ブライン“Paradise”を新鮮なアレンジで聴かせ、アール・スクラッグスのレビュエ時代のインスト“Silver Eagle”、カーター・スタンレー“Little Willie”はよりアパラチア風味を効かせ、12曲目の最後に持ってきたのはカントリージェントルメンの代表曲“Fox on the Run”！とても楽しめる「21世紀のソリッドグラス」だ。

COBB-2013 SHAD COBB & CHARLIE CUSHMAN 『Out of These Mountains』
CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

数多いナッシュビルのフィドラーでも、天性のひらめきを一貫して（言うなれば、その瞬間に聴こえるままを）「勘で楽器に載せていく」（ような）すごいフィドラーは数少ない。そんなひとり、ジョン・カウワン・バンドのメンバーとして2006年に来日したシャド・コップのフィドルとクロウハンマーバンジョー、そしてスクラッグスとレノを同時に表現してしまうチャーリー・クッシュマンのスリーフィンガーバンジョーとギター、そしてベース。ふたりだけで、雑誌「シンブルライフ」の女性編集長のジル・ピーターソンのプロデュースで、曰く「1916年にソングキャッチャーのセシル・シャープが集めはじめた曲を含む、18世紀にもたらされ19世紀後半に花開いたアパラチアの曲」を集めた伝統音楽集。

MH-1485 THE GRASCALS 『When I Get Pay』
CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

グラスカルの最新作はなんと！クリスティンがボーカルデビューだと言う。……今現在、まだ聴いていないので詳細は次号にて。現在、米国ブルーグラスのトップグループのひとつ、このレータが発行される頃には入荷していますので、ファンの方は是非どうぞ。

■ブルーグラス発掘編集新入荷

BACM-432 HOBO JACK ADKINS & His Kentucky Pals 『Early Bluegrass』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

ブルーグラスは極端な話し、1946年9月のビル・モンローとフラット&スクラッグスの録音から5～6年間の録音だけが純粋なブルーグラス、つまりすべてのエッセンス（基本原理）が詰まっていると考えてもいい。本作はその直後、1952年から録音をはじめたホーボー・ジャック・アドキンズの25曲集。ここにはそんなモンローとフラット&スクラッグスから学んだサウンドを懸命に演じるウォルター・ヘンズレーやレイ・ゴーインズとカーリー・レイ・クラインらのロンサム・パイン・

フィドラーズ、ボビー・スローンやビリー・エドワーズらの苦闘……というよりも快活な時代のエネルギーを背負ったブルーグラススタイルが堪能できるホンマモンの「アーリー・ブルーグラス」集。55歳で1975年に死去したホーボー・ジャックは生涯300曲ほどを作曲、リッキー・スキヤッグスやアリソン・クラウドが取り上げた“Another Night”（本作21曲目に収まっている58年頃の録音でフィドルにはケニー・ベイカー）の作者でもある。無名で終わった素晴らしいブルーグラスシンガーでソングライター、トラッドグラスバンドのレパートリー探しにもお勧め!!

ME-5549 V.A. 『Bluegrass Gold』 CD 2枚組
¥2,363-(本体 ¥2,250-)

1970年代のキース・ウィットリーを擁したラルフ・スタンレーのすごいエネルギー溢れる“Over in the Glory Land”から、ラルフとクリンチマウンテンボーイズの“Bright Morning Star”のアカベラまでブルーグラス・ゴスペル名曲2枚組CDに全29カットのお徳用盤。ほかに全6曲“Amazing Grace”を含むラルフのほか、1960年代のスタンレー・ブラザーズやカントリー・ジェントルメン、そして1970年代のセルダムシーンからフォーブスファミリーやイースターブラザーズ、ドイル・ローソン、ラリー・スパークスからブルーハイウェイほか、レベル・レコードの音源から様々なスタイルを楽しめるブルーグラスゴスペル集である。リッキー・スキヤッグスの封印されたデビューソロ『That's It』(1975)から、母ドロシー・スキヤッグスの歌う“Tha Evergreen Shore”が収められているという……驚き!?

■インスト新入荷

MNJS-0002 MAREKA & JUNJI 『The Rambler』
CD¥2,500-(本体 ¥2,381-)

The Rambler- Banish Misfortune- Bye A While/Anna Fox/ この想い /The Clinch Mountain Back Step/ Coilsfield House/Jackson's/ おわいやれ /Breton Gavotte (Ton Double Gavotte)/She's Sweetest When She's Naked/Thomas' Farewell- As The Sun Was Setting/ O'Carolan's Welcome/The Banks of the Suir.

元ナターシャセブンの城田純二と内藤希花のアイリッシュコンビの最新第三作。「お馴染みのアイリッシュ・ミュージックからオールド・タイム、フォーク・ソング、民謡などを、たくさんの楽器と歌で奏でました」とコピーに曰く。城田のギターとバンジョーに内藤のフィドル、コンサルティーナ、アイリッシュハーブなどを駆使して幅広いレパートリーを聴かせる。アイリッシュの

ことはよく分からないのだが、1曲目から「まれか」のフィドル・トーンがらしくなってきたような気がするのだが……、オープンバックバンジョーのトーンとコンサルティーナが良く合う2曲目、3曲目には故・坂庭省吾が良く歌っていたというトム・バクストン“Last Thing on My Mind”の日本語版、そしてスタンレーの“Clinch Mountain Backstep”をクロウハンマーで演じる4曲目……など、フィドルチューンを軸に山形の民謡なども含め、全編に美しいトーンを基調にアイリッシュ特有の清涼感に包まれた秀作である。ちなみに、「MAREKA & JUNJI + 三津谷組」のライブリポートがムーンシャイナー 2013 年 10 月号 (MS-3012 ¥525-)にある。

■オールドタイム／フォーク新入荷

HCL-002 HEIDI CLARE & RON THOMASON 『Bygone Days』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

映画『コールドマウンテン』のサントラに採掘されたオールドタイム・ストリングバンド、元リールタイム・トラベラーズのハイジ・クレアと、ドライ・ブランチ・ファイア・スクォッドを率いてニューヨークの巨大フェス「グレイフォックス・ブルーグラス・フェス」のホストを務めるロン・トーマソンのふたりによる非常に感覚的で力強い、つまり「ロウ(生)」なアパラチア音楽。ハイジの強烈なフィドルがグルーヴする曲を中心に、意外な選曲でとても愛らしいボーカル曲など、その荒々しさと生々しさとで本物のアパラチアを感じさせてくれる秀作である。尋常ではない内に秘めたインパクトを感じさせる詳細は、オールドタイム詳細解説参照

SH-4097 DOC WATSON 『The Definitive』 CD 2枚組 ¥3,675- (本体 ¥3,500-)

昨年 5 月 29 日に 89 歳で世を去ったドック・ワトソン、『The Definitive(決定版)！』と名付けられたドック・ワトソンの初期バンガード時代と後期シュガーヒル時代から、ギター物とブルース物以外で初のベスト集。1962 年から 1995 年までにソロアルバムとして発表された(1972 年から 1983 年の UA 盤とフライングフィッシュ盤以外) 15 枚のアルバムからフレッド・ジャスパーが選んだ全 34 曲 105 分の秀作。カーターファミリーの“The Cyclone of Rye Cove”を 1 曲目に、“St. Louis Blues”や“Sittin' On Top of the World”などのブルース、“House Carpenter”や“Little Sadie”などのアパラチアンバラッドの数々、デルモア兄弟の“Blue Railroad Train”やオズボーン兄弟の性悪女デラ・メイを歌ったブルーグラス名曲“Big Spike Hammer”などのカバー、もちろん“Black Mountain Rag”や“Whistlin' Rufus/Ragtime Annie”、

そして最後 34 曲目の“Whiskey Before Breakfast”で聴かれるフラットピッキングギターインストまで、ラス前にオリジナル名曲“Your Lone Journey”も収められたドックの 2 枚組決定盤。

BACM-430 KARL & HARTY 『Vol. 2 Old Time Harmony Singing』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

レンフロバレイとして知られるイースタンケンタッキーの音楽拠点マウントバーノン出身のカール・デビスとハーティ・テイラー、ともに 1905 年生まれの幼なじみが組んだブラザーデュオのパイオニア。1930 年代中頃からモンローブラザーズやブルースカイボーイズをはじめ数多のデュオの先輩格に当たるカール&ハーティ、英国カントリー音楽アーカイブの第二弾。本作には前作(1931-1945 の 21 曲)よりも後期、1941 年の“Wreck on the Highway”、“Blue Railroad Train”、“Dust on the Bible”、“Gold Watch and Chain”などのカバー曲を含む 23 曲と、1944 年にカールの姪、当時 14 歳くらいのシェルビー・ジーン・デビスの天使のように上手な“Put My Little Shoes Away”を含むボーカル物 6 曲、そして 1947 年の 2 曲の全 31 曲が収められている。同時期の盲目のデュオ、マック&ボブほどクラシック的ではないものの、のちのドライブ感のあるモンロー兄弟やアバラチア陰影の濃いボリック兄弟、ブルースなデルモア兄弟らと比べると 19 世紀後期のビクトリア調バラッドの牧歌的なロマンが漂うノスタルジックな響きが聴く者を癒してくれる。カールはのちにブルーグラススタンダードとなる“Kentucky”や“I'm Just Here to Get My Baby Out of Jail”を書いている。

■カントリー新入荷

ROU-9179 MANDY BATNETT 『I Can't Stop Loving You:The Song of Don Gibson』 CD¥2,888-(本体 ¥2,750-)

10 月に京都の円山音楽堂で開催されたカントリードリームで来日していたマンディ・バーネットの最新作は米国外食チェーン「クラッカーバレル」のみで入手可能なアルバム。「愛さずにはいられない」や“Sweet Dreams”など、多くのヒットを持つドン・ギブソン(1928-2003)へのトリビュート作品。パッツィ・クラインを思わせるポップな熱唱と、現在ナッシュビルが創る 21 世紀のナッシュビルサウンドが見事に絡み、カントリーというよりはスタンダードポップを思わせる素晴らしい出来栄えだ。カントリー詳細解説参照

SED-71731 TWO TONS OF STEEL 『Unreveled』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

サン・アントニオを本拠にして活躍する活きの良いウッドベースのスラッピングが1950年代のノスタルジーを感じさせるテキサス・カントリー、ツー・トンズ・オブ・スティー、オースチンの辣腕プロデューサー、ロイド・メインズを迎えての最新作。ジョニー・キャッシュで知られる"Busted"、テキサスの伝説的ミュージシャン、オーギー・メイヤーズのカバー他、軽快なオリジナルもご機嫌。

FREED-5046 HEATHER MYLES 『Live On TruCountry』 CD+DVD¥3,255- (本体 ¥3,100-)

ペイカーズフィールド・サウンドのストレートなホンキートンク・スタイルを聴かせる女性ヒザー・マイルズ(51)の最新作はライブ23曲のCDとDVD映像集。カリフォルニアの競走馬を育てる牧場で生まれ育ち、その仕事を辞めて30歳でのデビュー以来、ハイトーンやラウンダーと行った本物志向のレーベルで活躍してきたベテラン・カントリー。レイ・プライスの"Crazy Arms"や"Vaya Con Dios"、バック・オウエンズ"I'm Gonna Have Love"など新旧ホンキートンクをたっぷりと楽しませてくれる。

最近作／話題作ダイジェスト

(以下で紹介するものは最近作を中心に、すでに新譜紹介したことのある作品群です。最後尾により詳細な解説があるお勧め作品もあります)

**■ムーンシャイナー 2013年12月号関連作品
NONE529809 CAROLINA CHOCOLATE
DROPS 『Leaving Eden』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)**

で、カロライナと言えば「ブルーリッジ」と「ピードモント」。そのピードモント地方を代表するバンド、前作がグラミー受賞したカロライナ・チョコレート・ドロップスの2012年作がこれ。2005年のノースカロライナ州ブーンで開かれた「ブラック・バンジョー・ギャザリング」を契機に、その中心女性リーアノン・ギデンズが結成、20世紀以降は白人音楽とされるストリングバンドを19世紀には黒人たちのものだったという視点で、あのノンサッチ・レーベルから三枚目の秀作。アパラチア／ノースカロライナの景色を知ることのできる素晴らしい作品として強力にお勧めする。

**●以下、「知っておきたい... シリーズ #5 「フラットピッカー達」で紹介したアルバムたち
FGM-124 ROBERT BOWLIN 『Six String Soliloguy』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)**

ビル・モンローのブルー・グラス・ボーイズ最晩年

のフィドラーにして、知る人ぞ知るクラレンス・ホワイト・フリークのギタリスト、ロバート・ボウリンが全くのソロで聴かせるフラットピッキング16曲集。"East Tennessee Blues"や"Whiskey Before Breakfast"、フォスターのメドレー"I Dream of Jeannie/ My Old Kentucky Home"ほか、シビアなオリジナルが素晴らしい。

FGM-123 JIM NUNALLY 『Gloria's Waltz』 CD¥2,888- (本体 ¥2,750-)

デビッド・グリスマンのブルーグラス・イクスベリエンスで一躍知られるようになったウエストコーストの大ベテラン・フラットピッカー、ジム・ナナリーの最新作。トラッドグラスからドン・マクリーン、ドリー・パートン、ジョン・フォガティ、バック・オウエンズなどなど、さまざまなジャンルの曲を、優しい歌とフラットピッキングで和ませてくれる。ムーンシャイナー誌2008年7月号の「ユタ・フィリップス追悼」への寄稿は、彼の音楽を知る素晴らしいものだった。

GRR-1003 JACK LAWRENCE 『Arthel's Guitar』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

クラレンス・ホワイト大好き少年だったジャック・ローレンス、そののちニューディールストリングバンドからブルーグラス・アライアンスを経て、1980年代から息子マールを喪ったドック・ワトソンの片腕となった。自身のルーツであるノースカロライナはもちろん、クラレンス・アッシュレー、モンロー／フラット&スクラッグス、ザ・ディラーズ、レノ&スマイリー、そしてもちろんドック・ワトソン……、そんな自身のヒーローたちからの有名レパートリーやトラッド曲を軸に、ドック、デビッド・グリスマン、サム・ブッシュ、デル・マッカーリー・バンドらをゲストに迎えた楽しい朴訥なボーカルとギターの最近作。近年のパキパキギターじゃなく、こうしてジャックのように、誠実に自分のトーンを磨き、ニカッとするようなフレーズを忍ばせる奥ゆかしさ、ほんと同年のジャックはほんと、思慮深く、素晴らしい人です。そうそう、タイトルの通り、ドックのD-18をジャックは弾いています。

●以下、12月号レコードレビューで紹介したもの

SKFR-5004 RICKY SKAGGS & BRUCE HORNSBY 『Live:Cluck Ol' Hen』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

COMP-4614 THE BANKESTERS 『Love Has Wheels』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

RW-0001 NEW KENTUCKY COLONELS 『Live

In Holland 1973』CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)
BGPC-0001 ブルーグラス☆ポリス『BG★PC』
CD¥1,575- (本体 ¥1,500-)
ROU-9153 THE JAY UNGER & MOLLY
MASON FAMILY BAND『A Fiddler's Holiday』
CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)
RHC-2016 V.A.『Christmas:The Mountain
way』CD+DVD ¥2,888(本体 ¥2,750-)

■ブルーグラスお勧め作品

COMP-4614 THE BANKESTERS『Love Has
Wheels』CD 2,573- (本体 2,450-)

昨年、自費制作盤として紹介した前作『Looking Forward』(BCR-032 ¥2,560-、在庫あり)がアリソン・ブラウンの目に留まってコンパスから全米デビューしたバンケスターズ、美人3姉妹に父母、そして長女の婿というファミリーバンド。この最新作では何と言っても昨年、IBMA に新設されたモメンタムアワードの第1回ボーカル部門受賞者となったエミリーがカバーする“Cups” (When I'm Gone) のウキウキ楽しいこと!! (オリジナルはカーターファミリー! シエラ・ハルも登場するプロモビデオは必見「bankesters, cups」で検索)。「アリソン・クラウドがジェネレーションX (1960~70年代生まれ) らのためにブルーグラスに光沢を与えたというなら、バンケスターズはミレニアリスト (21世紀世代) たちのためにニューグラスをふたたびヒップなものにしようとしている」とある評はちょっと褒めすぎ……!? でも、さわやかでモダンな女性ボーカルファン、必聴。

ACD-80 DAVID GRISMAN BLUEGRASS
EXPERIENCE『Muddy Roads』CD 2,573- (本
体 2,450-)

今もバリバリのドーグを演じつつ、常に自身のルーツであるオールドタイムとブルーグラスの真実を伝えつづけるデビッド・グリスマン、本作品は「15歳のわたしの音楽魂に刻印された (中略) 曲と歌への臣従の礼です」という、クラレンス・アッシュリーとドック・ワトソンらのフィールドレコーディングに捧げられた彼のソウルミュージック。グリスマンの地元ミュージシャンらとアパラチアン・オールドタイムをきわめてストレートな、「素」のままで聴かせる伝統的なブルーグラスサウンド。

AC-1910702 ALAN JACKSON『The Bluegrass
Album』CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

ビルボード初登場でブルーグラス部門で1位、そしてカントリー部門では2位という……ま、当然と言えば当然の高い評価を得たカントリー界の帝王!? が初めて挑

んだブルーグラス作品。8曲のオリジナルもブルーグラスというコンセプトを理解した真摯なつくりで、自身のバンドのブルーグラス担当スコット・コニーのギターをフィーチャー。またサミー・シーラー (bj)、アダム・ステッフィ (m)、ティム・クロウチ (f)、ロブ・アイクス (d)、ティム・ディッシュマン (bs) ら、どの曲もバックミュージシャンとシンガーとしての自分の距離を平等に取り、バックボーカルにはドン・リクスビーとロニー・ボウマンらを配し、どーやらロンサムリバーバンド風ブルーリッジ系ブルーグラスを念頭に、しかしティム・クロウチの素晴らしいハイロンサムフィドルとサミーの抑えたスリーフィンガーが全体に落ちついた大人のトラッドグラスサウンドにしている。ブルーグラス・スタンダード曲はディラーズの名曲 “There Is A Time” とモンローソングの極めつけ “Blue Moon of Kentucky” (全編をワルツのままに、このアルバムに対する思いとメンバー紹介をする5分40秒) でキマリ!! さすがいちジャンルを代表するシンガー、ブルーグラスのミュージシャンやファンのツボを捉えた秀作に仕上がっている。

SMM-1008 ALICE GERRARD『Bittersweet』
CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

1960年代初頭、ビル・モンローの強力な後押しでヘイゼル&アリスとして、初の女性ハイロンサム・サウンドを提示。1970年代以降、本作のプロデューサーでもあるローリー・ルイスをはじめアリソン・クラウドまで、女性ブルーグラスの隆盛の基礎を創ったコンビのひとり、アリス・ジェラードの最新作。最高のミュージシャン、ブライアン・サットン (g)、ステュアート・ダンカン (f)、トッド・フィリップス (bs)、ロブ・アイクス (d)、トム・ロザム (m) をバックに、アパラチアンバラッドからブルース、軽いスウィング、そしてホンキートンクなど、「正味」の女性ボーカルを聴かせてくれるアリスのソロとしては第3作目。ジャンルに無関係な、それでも自身が背負ったアパラチアのムード一杯の、アリスが人生の中で印象に残った言葉や光景を曲にしたという10曲の新曲と3曲の再録。1987年から2003年まで、オールドタイム音楽の季刊誌『Old Time Herald』の編集長としてアメリカ伝承音楽の発掘と保護に大きな貢献を残したアリスの素敵なソロアルバムだ。ブルーグラス詳細解説参照

ROU-9168 STEEP CANYON RANGERS『Tell
the Ones I Love』CD¥2,573-(¥2,450-)

今年、前作『Nobody Knows You』(ROU-0648 ¥2,573-) がグラミー賞を受賞、また今年のIBMAアワードショウのホストを務め、またスティーブ・マーティンとエディ・ブリッケルとともにIBMAワイドオープン

ブルーグラスのトリを務めた、現在もっとも知られるブルーグラスバンドとなったスティープ・キャニオン・レイジャーズ最新作。ウッドストックにある故リボン・ヘルムのスタジオでラリー・キャンベルが制作、インテリ系ブルーグラス!? というあたらしい志向を目指すのオリジナル作品集。今秋発表と同時にビルボード・ブルーグラスチャート第1位となっている。今もっとも注目される若手ブルーグラスバンドの秀作である。

COMP-4599 GIBSON BROTHERS 『They Called It Music』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

昨秋につづいて2度目のIBMA 最優秀エンターティナーを獲得、ブルーグラスの伝統的な手法であるブラザーデュオを看板に、現在ブルーグラス界の頂点に立ったギブソン・ブラザーズの最新作は、2011年のIBMA 最優秀アルバムと最優秀ボーカルグループを受賞した前作『Help My Brother』(COMP-4549 ¥2,573-)と同様、兄エリック・ギブソンとジョー・ニューベリーとの共作をタイトルにしたシンプルにして誠実な作品。兄のエリック (bj) と弟レイ (g)、そしてもうひとりの兄弟とも言えるマイク・パーバー (bs) の3人に、パークリー音楽院マンドリン専攻一期生のジョー・ウォルシュ (m) とクレイトン・キャンベル (f)、コンパスの三作で不動の5人組である。かれらの決してやり過ぎない品のいいバックアップに、特徴的なオリジナルソングとマーク・ノッブラーやロレッタ・リン、そしてハンク・ウィリアムズ "Sundown and Sorrow" などのカバーを見事なアーリーブルーグラス名曲にしてしまうなどの選曲も秀逸。

BMR-0001 BLUE MOON RISING 『Blue Side of the Moon』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

セルダムシーンのデビュー作からポール・クラフト作の "Raised By the Railroad Line" をカバー、ボーナス 트랙に2曲のカントリーを入れるなど、ジョン・スターリング信奉者と勘ぐられるクリス・ウエスト (g) が率いるブルームーン・ライジングの最新第6作目。このクリスと、現在スーパーバンドで大人気のボックスカーズで活躍するキース・ギャレットが2001年、イーストテネシーを本拠にデビュー作を発表したバンド。ランディ・コーアズやロン・スチュワートをゲストに2005年の第3作『On the Rise』(在庫あり、LDR-007 ¥2,573-) でビルボード・ブルーグラスチャートで初登場14位を記録、本誌掲載ブルーグラスサーベイでも同作からの "Old Martin Box" がヒットして一躍有名になり、さらに2008年の第4作では先のふたりに加えてティム・クロウチやコディ・キルビー、マイク・バブラを迎え、現在も高い評価を受ける『One Lonely Shadow』(在

庫あり、LDR-012 ¥2,573-) で名前を築いたブルームーンライジング。キースが抜けたのちもバンド創設者で響きのいいバリトンボイスの持ち主クリス・ウエストのオリジナルを中心に安定した、モダンなブルーグラスを聴かせ、全米に名を広めは始めている。

JBB-2013 TERRY BAUCOM 『Never Though of Looking Back』 CD¥2,573-(¥2,450-)

何と言っても一曲目からサム・ブッシュ独特のメロディーの創り方が全編に渡って快感! 久々のブッシュ節マンド全開 (近年の創られ過ぎトーンではない、NGR 時代を髣髴する生音が懐かしい)。またサムがリードを歌うフラット&スクラッグスの小ヒット名曲 "Just Ain't" のご機嫌なこと! ジェリーのドブプロからジョッシュ・グレイプスの魂と弾き方ノウハウのイロハが溢れ出ているぞ! この作品、何と言ってもそれ、サムとジェリーの全編参加でしょ!!? 「昔を振り返るなんて、思っても見なかった」というタイトル通り、ジェリー・ダグラスとスティープ・ブライアント (ebs) というふたりに、アルバムの売りと思われる2曲目 "Martha White, Lester and Earl" にウェス・ゴールドディングの曲を持ってくるといふ、ブーンクリーク時代回顧作品ともいえそうな楽しいアルバム。ジョン・カウワン、バルサム・レンジのパディ・メルトン、ジョン・ランドール・スチュワート、デビッド・メイフィールド、マーティ・レイボンらゲストによるご機嫌なボーカル作品である。

HMG-1011 DONNA ULISSE 『I Am A Child of God: A Gospel Collection』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

メジャーカントリーシンガーとしてもデビュー経験のあるドナ・ユリッシー、ラルフ・スタンレーの従兄弟、リック・スタンレーと結婚してブルーグラスに戻ってからの最新第6作目である。その癖のないキュートでストレートな歌唱と、キース・ソウェルとブライアン・サットンというふたりのスーパーギタリストをプロデューサーに、アンディ・レフトウィッチ (m,f)、スコット・ベスタル (bj)、ロブ・アイクス／ランディ・コーアズ (d)、ピクター・クラウス／バイロン・ハウス (bs) という、いつもの申し分のないメンバーで聴かせる。ブルーグラス詳細解説参照

SKFR-5004 RICKY SKAGGS & BRUCE HORNSBY 『Live: Cluck Ol' Hen』 CD¥2,573- (本体 2,450-)

6年前にコラボしたふたりのメジャーアーティストによる強烈ライブ! リッキーはブルーグラスから1981年、カントリースーパースターとなり、そしてまたブルー

グラスに戻り、現在トップエンターテイナーとして、またビル・モンローのブルーグラスを継承する第一人者として活躍。一方ブルースは、1984年に自身のザ・レインジでルーフグラスフェスの情景をロマンチックに描いた“Mandolin Rain”などでポップヒットを飛ばして以来、ロック、ジャズ、ブルーグラスを行き来する即興演奏家としてボブ・ディラン、ロビー・ロバートソン、クロスビー、スティルス&ナッシュ、ベラ・フレック、ボニー・レイットなど協演、地位を確立している。トップブルーグラスバンドのライブ、その揺るぎない圧倒的なアンサンブル（ドライブとフレージングが絡み合う様は究極の至福！）の中でトラッドブルーグラスとインプロバイズミュージックが見事に響き合う、ふたたびリッキーがやりたくなったのも無理からぬ刺激的なライブ！ ふたりはこの11月もニューヨークでツアーをこなしている。

RCSI-1083 MIKE COMPTON & JOE NEWBERRY 『Live』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

モンローとブルースをこよなく愛してスタイルを成したマンドリンの名手マイク・コンプトンと、オールタイム・バンジョーの名手にしてシンガーソングライター、ギブソン・ブラザーズでヒットした“Ring the Bell”や“Help My Brother”などの作者でもあるジョー・ニューベリー（本作ではほとんどギターを担当）のふたりだけで創られた、すばらしく充実したライブ作品。フィドルチューン“East Tennessee Blues”をイントロに、モンロー名曲“Rocky Road Blues”や“Kentucky Waltz”やブルース“Sittin' On Top of the World”、そしてジョーのオリジナルなどを配し、エンターテインメントとしてのライブを楽しませる秀作に仕上がっている。マイクは、“Evening Prayer Blues”でのブルースソロから“Kentucky Waltz”でのロマンチック(!?)な表現まで、モンロー・マンドリンの新境地を拓いていく……。まったくひとりで創り上げた2011年発表の前作CD『Rotten Taters』(RCSI-1051 ¥2,573-)を越えて、あらゆるシチュエーションでの自信に満ちている。最後のクロウハンマーバンジョー&マンドリンによる“Fly Around My Pretty Lil' Miss”の凄いいノリは、このデュオはこの興奮から生まれたのか!?!と思わせるすばらしさだ。

MFR-130423 SPINNEY BROTHERS 『No Borders』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

全米ブルーグラス・チャート（毎月ムーンシャイナード掲載）でトップの常連になっているスピニー・ブラザーズ今夏の最新作。1960年代、日本の学生バンドもよく取り上げたケンタッキートラベラーズの“The Moon

Saw Me Crying”や、カーター・スタンレーのスタンダード“Think of What You've Done”などのカバーほか、現在のブルーグラスソングライターたちのストレートなブルーグラス曲を取り上げ、丁寧なトラッドグラスサウンドを聴かせる14曲集。アラン(g)とリック(bj)のスピニー兄弟にゲリー・ダリンブル(m)、ダリル・ヘップ(bs)というメンバーに、トラッドグラスサウンドに合わせてアグレッシブながらもストレートなブルーグラスフィドルに抑えたロニー・スチュワートとドブロにロブ・アイクス(d)、そして1曲のみだがスピニー兄弟が崇拝するスタンレー・ブラザーズ直系のラルフ・スタンレーⅡがボーカルで参加、ストレート（古風!?!）なブルーグラスサウンドがとてもしっくり。ロン・スチュワートのフィドルがブルーリッジ系のときはまったく違ったフレージングになるのも聴きものである。

REB-1841 DON RIGSBY 『Doctor's Orders - A Tribute to Ralph Stanley』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

5歳のときに聴いた“Little Maggie”に衝撃を受け、6歳の誕生日にプレゼントとしてバックステージでラルフ・スタンレーに会って以来、ラルフのようになることを夢見てミュージシャンの道を志したというドン・リグスビー、現在40代半ばのもっとも充実しているとき、自身のベースにあるスタンレー音楽に真摯に取り組んでいる。ラルフのバンジョー奏法をそのまま受け継いだスティープ・スパークマン、ここではカーリー・レイ・クラインを意識しまくるロン・スチュワート、シャフラーのクロスピッキングを受け継ぐジェイムズ・アラン・シェルトン、ベースにはバリー・ベイルズ。そして特別ゲストとして、ラルフ自身が“Daughter of Geronimo”ですばらしいリードボーカル、“Home in the Mountain”ではテナーを聴かせ（リッキー・スキヤッグスがバリトン）、最後の“Traveling the Highway Home”ではラルフが母から学んだクロウハンマーバンジョーを聴かせる。ほかにラリー・スパークスがリード・ボーカルとリードギターで登場、チャーリー・サイズモアも参加してのスタンレーサウンド大会。トラッドグラス界随一のテナーボイスでスタンレーサウンドと名曲を蘇らせた秀作である。

MH-1462 BOXCARS 『It's Just A Road』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

新人ながらIBMA最優秀インストグループ賞を軽々と獲得したそのドッキマリが最初の曲、ジェリー・リードの気色いい“You Took All the Ramblin' Out of Me”で、バンジョーイントロから「パチーン」と耳に飛び込

んでくる。出来すぎのアンサンブルと各楽器の呼吸、そしてジョン・ボウマン (f) の実にあっさりとしたブルーグラスボーカルがホッとさせてくれる。これは、やっぱ、21 世紀の今、ブルーグラス・メインストリームを代表するサウンド／アンサンブルに違いない。ほかに "Coal Miner's Blues" などカーターファミリーが 2 曲、ビル・モンローの "Never Again" はバリバリのソリッドグラスに (ジャケットのハंक・ウィリアムズ作は誤り)、1920 年代のジャズブルース "Trouble in Mind" はアダム・ステフィ (m) のバリトンボイスで、キース・ギャレット (g) のオリジナルが 3 曲、ロン・スチュワート (bj) のオリジナルが 2 曲 (内 1 曲はバンジョーインスト)、ハロルド・ニクソン (bs) もしっかりお仕事をして非常に選曲バランスも良い。全員がフロントマンではなくサイドマンと呼ばれたメンバーたち、そんな中でも飛びっきりの面子を集めたことで、あつという間にトップバンドとなったザ・ボックスカーズ。1 曲目のジェリー・リードから最後のカーターファミリーまで、実に安心して聴いていられる 1970 年代のニューサウスサウンド直系、現在メインストリーム・ブルーグラスアンサンブルの最高峰だろう。

■ブルーグラス発掘お勧め作品

BACM-398 BARRIER BROTHERS 『Bluegrass Classics』 CD-R ¥2,573- (本体 ¥2,450-)

Blue Moon of Kentucky/Gotta Travel On/Polka On a Banjo/Crying My Heart Out Over You/My Little Georgia Rose/Salty Dog Blues/Earl's Breakdown/Cabin in the Hills/Flint Hill Special 他全 28 曲

上記 1 曲目から 9 曲目まで、これでもか! とばかりのビル・モンローとフラット&スクラッグスのヒット曲オンパレード。この調子で全 28 曲、次から次へとブルーグラスを創ったモンローとフラット&スクラッグスが (数曲は違うけど)、なんと、チョットとスタンレー風のボーカルとバンジョーで——つまり、モンローの「激」とレスターの「味」とアールの「技」を抜いて——聴かせてくれる。さらに全編を駆け抜けるというか縫いまくるといふか、わがアイドル、ベニー・マーティンのフィドルが所構わず顔を出す楽しさ。メジャーのフィリップ・レコードから『Golden Bluegrass Hits』と『More Golden Bluegrass Hits』(共に 1962) として日本やヨーロッパでも発売され、広くブルーグラスを世界に紹介したバリア・ブラザーズ。その二枚のアルバムを順に 24 曲収め、1960 年にシングルで発表した 4 曲をプラスした全 28 曲。トラッドグラスファンに強力お奨めの 60 年代ブルーグラス大名盤である (ただし、マンドリンがなきゃダメと

か、スネアが入っているとだめという人にはゴメン!)。ブルーグラスのフィドルとバンジョーの役割、そしてトリオハーモニーのイロハまで、「激」／「味」／「技」抜き!? の聴いていて気持ちいいブルーグラスが楽しめる秀作だ。

BACM-418 BILL CLIFTON & HAMILTON COUNTY BLUEGRASS BAND 『Two Shades of Bluegrass』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

1970 年、ビル・クリフトン (82) が平和部隊に在籍していたときに、ニュージーランドのハミルトン・カウンティ・ブルーグラス・バンドと録音したすばらしいトラッドグラス作品。いつものビルらしく、カーター・ファミリーはもちろん、グランパ・ジョーンズやアーネスト・タブ、アンクル・デιβ・メイコン、クリフ・カーライルら初期カントリーの名曲などをブルーグラススタイルで聴かせる 13 曲。そして残りの 15 曲は、ビルのトラッドソングに対する丁寧な愛情を感じる (オートハープも含めた) 同時期のソロライブ・パフォーマンス。全 28 曲、ビル・クリフトンのブルーグラスとトラッドソング／フィドルチューンなどの弾き語りの両方が楽しめる、若いビルの貴重な CD 化である。ちなみにこの頃、日本にも立ち寄って (1968 年) おり、現在も日本のことをいつも気にかけてくれる素晴らしい人である。

TSQ-2400 ROLAND WHITE 『I Wasn't Born to Rock'n Roll』 CD¥2,363- (本体 ¥2,250-)

1976 年に発表されたローランド・ホワイトのデビューソロ・アルバムが未発表を 1 曲、オマケに加えて初 CD 化。骨の髄までトラッドグラスを知り尽くした男のソロアルバムをウエストコースト乗りのカントリーガゼットがバックアップ。アラン・マンデの完璧なまでのバンジョースタイルがとても目立つのだが、いやいや、このアルバムの味噌は、ロジャー・ブッシュのスラッピング・ベースが生み出したリズムとケニー・ワーツを加えたビーチ・ボーイズ風トリオ・ハーモニー、そのふたつがローランドのトラッド感覚 (でもフレキシブルなんだ!) と見事に生き生きしたサウンドを創り出してこのアルバムを色あせない名盤にしている。今聴いても古さを感じさせないカーター・ファミリー "Storms Are on the Ocean" からビル・モンロー、フラット&スクラッグス "If I Should Wander Back Tonight" や "Head Over Heels" の名曲中の名曲、自身のアイドル、マック・ワイズマン "I Saw Your Face in the Moon"、そして "Love Please Come Home" から "Sittin' on Top of the World" までメドレーでつづる超スタンダード……全 13 曲。ビル・モンローとレスター・フラット、ふたりの巨人の女房役を

務めたまれな幸せ者（金銭的な成功からは遠かったが）、ブルーグラスファンをおなか一杯に楽しませてくれるローランド、ほんとうに優しく温かい人だ。

RW-0001 NEW KENTUCKY COLONELS 『Live in Holland 1973』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

ザ・バーズでロックスターとしての数年を過ごした後、レスター・フラットのナッシュビルグラスにいた長兄ローランド(1938-)をカリフォルニアに呼び寄せ、次男のエリック(1942-2012)とともにホワイト・ブラザーズとして、1966年に解散したブルーグラスバンド、ケンタッキーカーネルズを再始動させたクラレンス・ホワイト(1944-1973)、誰がこの二ヶ月のちに29歳の天才ブルーグラスギタリストの命が奪われると思っただろうか!? 本作はこれまで世に出なかった1973年5月、ハーブ・ピーダセン(1944-)のバンジョーを加えてのオランダツアーでのあまりに生々しいブルーグラス魂の詰まったライブ。全員がブルーグラスをすることに燃え、喜びを爆発させているような音がすさまじい。クラレンスの“Fields Have Turned Brown”の間奏ほか、彼のギターをどー表現すればいいだろうか!? まさしくギタートーンがひとりでブルーグラスしている。それはほかの3人も同様、ブルーグラスという音楽のスリルとコーフンがつつぎとぎと相乗作用で伝播して行く、その様がありありと感じられるすばらしいライブだ。……あの日から40年、75歳になった兄ローランド・ホワイトの気持ちが一杯の未発表ライブ発掘である。久々に心揺さぶられるブルーグラス魂に感激!!

SXCD-6034 COUNTRY GAZETTE 『The Four Album Collection』 CD 2枚組 ¥2,888- (本体 ¥2,750-)

カントリーガゼットのローランド・ホワイトが参加後の1973年から77年の初期アルバム3枚全39曲と、その時期に陽の目を見なかったスタジオ録音とライブ録音された未発表曲(クラレンス・ホワイトを迎えたガゼットのライブ5曲を含む)15曲の全54曲を収めたスグエ2枚組CD。

■日本のブルーグラス！お勧め2013作品
BGPC-0001 ブルーグラス☆ポリス 『BG★PC』
CD¥1,575-(本体 ¥1,500-)

Lonesome Road Blues/There Ain't Nobody Gonna Miss Me/Chicken Fried/Tatsuya's Breakdown/Bartender's Blues/ 梅田からナンバまで/White House Blues/99 Years. 8曲

ムーンシャイナー 11月号特集された北大、東北大、

神大の精鋭OB/OGが集まって結成、箱根ブルーグラス・フェス人気投票で3年連続ナンバーワンを獲得したブルーグラス☆ポリスのエネルギー全開デビュー作。トラッド有名曲からジミー・マーティン、モンローソングからホットライズまで、最先端若者たちのストリートブルーグラスに、ジェイムズ・テイラー作ジョージ・ジョーンズ歌の大ホンキートンクソングや最近ブレイクしたザック・ブラウンのカントリーロック、そして上田正樹の日本語曲にオリジナルのバンジョーインストの全8曲。マンドリンの平澤諒太のぶっ飛びフレーズと、横濱バンジョー祭りの第2回バンジョープレイヤーコンテスト優勝者である桑原達也のやんちゃぶりがこのバンドの本質的な志向を表し、フィドルの若林優子がニコニコしながら糸の切れた風のように宇宙遊泳しているその取締りに、大阪出身札幌経由で東京在住という染田屋光高、アメリカンロックとカントリー好きなブルーグラスシンガーといった意外と常識人のリードボーカルが平泉友誠のベースとともにバンドをクールに落ち着かせている……。

JMD-002 THE CASH 『The Cash』 CD¥2,000- (本体 ¥1,904-)

Angel/FYBF/Zeus/ 夏と恋/ Never Ending Lullaby/ Crawdad Song/ Cry Baby. 全7曲

ブルーグラス生まれのマンドリン奏者、井上太郎に、日テレ系TVドラマ『Mother』主題歌「泣き顔スマイル」でJ-Popヒットした「hinaco (ひなこ)」と、センチメンタル・シティロマンスのベーシストの瀬川信二が参加したトリオ、ザ・キャッシュの7曲入りデビューミニアルバム。太郎が「hinaco」のギター能力に着目、ジョニー・キャッシュから命名されたトリオ。ブラザーデュオのドライブからタロー&ジョーダンなどの複雑な変拍子も平気でこなす「hinaco」のリズムギターに、さまざまなエレベのテクニックを駆使してリズムのみならず、世界観も広げる瀬川に乗っかって、太郎のオリジナル英詩ボーカル物を中心に、「hinaco」の日本語詩に太郎が音楽をつけたJ-Pop、ブルーグラススタンダードのトラッド“Crawdad Song”、そしてインスト2曲、非常にポップでスマートな作品となっている。……えっ? 「これがブルーグラスか?」って。いやあー、フォークでもカントリーでもないし、ま、本人が「ブルーグラスッ!」って叫んでることであります。

BSOL-001 BLUESIDE OF LONESOME 『Let Us Travel, Travel On』 CD¥1,000- (本体 ¥952-)

現在の関東を代表するブルーグラスバンドのひとつ、ブルーサイド・オブ・ロンサムが10月はじめの渡米に

合わせて発表した6曲入りデビューミニアルバム。関東ブルーグラスの大ベテラン、笹部益生 (g,v)、加藤保久 (m,v)、早川流吉 (bj,v)、手島昭英 (bs) の4人に、若手フィドラー手島宏夢 (f,v) が参加、ブラザーデュオ “Let Us Travel On” からブルーグラススタンダードのゴスペル “Cryin' Holy Unto The Lord”、そしてニューグラスとしても評価の高いモンローインスト “Old Dangerfield” からジョン・ハートフォード “Steamboat Whistle Blues” まで、フレッシュなブルーグラスサウンドに、日本カントリー界の歌姫、坂本愛江が加わり、オズボーンばりのカントリーアレンジ “Please Help Me I'm Falling” やハーモニー “Pathway Of Teardrops” など、飽きさせないレパートリー。このデビュー作でもそんな様々な切り口をショウケース風に聴かせてくれる。演奏技量も歌唱力も安定しているものの、ややスタジオ録音に勝手が違う感もあるが、日本のベテランブルーグラスサー、ここにあり！というストレートなブルーグラス作品だ。

RCSI-1092 柴田貴子／稲川友則『Accordion & Banjo』CD¥2,000- (本体 ¥1,905-)

バンジョーという楽器をブルーグラスやオールドタイム、ディキシーランドなど、既成の音楽形態から見ればかりでは気付かない、新鮮なシチュエーションの妙を聴かせてくれるバンジョー奏者の稲川友則とアコーディオン奏者の柴田貴子のバンジョーとアコーディオンのインストデュオのデビュー作。浜松／豊橋を本拠に活躍、「聴く方にどこか癒しのような感覚を味わっていただけたらうれしい」というふたり、フランスのミューゼットやバッハ、そしてアイリッシュや南米系のタンゴなどが各二曲ずつ、「異国情緒あふれる仕上がり」も感じて欲しいという。ムーンシャイナー誌 2013 年 7 月号 (MS-3009 ¥525-) で紹介した稲川さんとバンジョー／ブルーグラスとの出会いも新鮮で、その発想／オリジナリティの源泉が読み取れる。ともに騒々しい楽器としてジョークのネタにされることも多いバンジョーとアコーディオン、まだ未完だろうが、それぞれの楽器が持つ表現方法を自由に探そうという姿勢を応援したい。

RC-126 渡辺 敏雄『The Fiction Twins』CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

My Long Journey Home/Little Red Shoes/Weeping Willow/Will the Roses Bloom/Little Annie/Just Because/Will the Circle Be Unbroken 他全 14 曲

ブルーグラス 45 ではベース、シャギーマウンテンポーズではバンジョー、そして現在はマンドリンを担当する渡辺敏雄、B.O.M. 社長が 1930 年代に大ブームを巻き起こしたブラザーデュオを再現した力作。数々のブラ

ザーデュオがそれぞれに活躍したが、ここで再現されるのはビルとチャーリーのモンロー・ブラザーズ。のちに「ブルーグラスの父」となるビル・モンローは、その（当時すでに）圧倒的なマンドリン奏法を、兄チャーリーが作り出す初期の G ラン、すなわち原始的ドライブとお洒落なメロディに乗せて他のブラザーデュオとは一線を画したグルーヴを再現。1960 年以前のアメリカン・ポピュラー音楽の原点のひとつといえるブラザーデュオのメロディとビート、歌心を見事に再現した、秀作ではないだろうか？

OTCR-006 PIRATES CANOE 『Three』CD¥1,000- (本体 ¥952-)

1 曲目のフィドラー 榎 夏那子作のインスト、ケルト的幻想からアイリッシュ、そしてニューグラス的な展開の中、河野沙羅のマンドリンと岩城一彦のドブロが楽しくブルーグラス会話をし、吉岡孝のドラムスと谷口潤のベースがリズムを固める聴きごたえ十分のインストにはじまり、二曲目にもドキドキするようなイントロで聴く者をケムに巻くハント鈴加 (g) の英語詞と河野の作曲によるオリジナルに、今春の全米ツアーを経て自信と磨きがかかったようだ。パイレーツ・カヌーという京都の三人組女子と三人組男子の六人組によるアメリカナ／ニューグラスのフルバンドによる最新第三作である。マンドリン、フィドル、ギター、ドブロというブルーグラス系楽器にベースとドラムスでリズムを固めたシュールなフォークロックバンドといったところ。ムーンシャイナー 2012 年 8 月号、また 2013 年 3 月号 (各 ¥525-) に、女子三人組のみで制作したアルバム『Sailing Home』(OTCR-003 ¥2,000-) の特集などでの紹介がある。広い意味で、ザ・キャッシュなどとともに、21 世紀を体現するアパラチア源流のニッケルクリーク以降のあたらしいブルーグラス系ユニットが、日本にも生まれつつあるようだ。

YTM-102 やぎたこ 『I'll Be Home Someday』CD¥2,000- (本体 ¥1,904-)

日本のフォークからポップ・ディラン、そしてウッディ・ガスリーからカーターファミリーらを経由して、最近、アパラチアの陰影に辿りついたというシンガーソングライター「やなぎ」と「辻井貴子」の男女デュオを 11 月号で紹介している。フォスターやジョン・ハートフォードの名曲も含め、ギター、オートハープ、マウンテンダルシマー、バンジョー、マンドリン、フィドルなどを駆使しながら原曲のイメージに沿ったアレンジで原語で聴かせる。1950 年代末から 60 年代初めにかけてアメリカの都会の若者たちが辿ったのと同様の道を歩んでよう

な……、まさに21世紀初頭の「オーブラザー現象」日本版のような彼ら。日本のブルーグラス／オールドタイム系男女デュオとはまた違った新鮮な切り口で、フォスターやカーターファミリーを中心に、われわれにはなじみの曲の数々を聴かせてくれる。そんな彼ら聴いていると、60～70年代の日本フォーク／ニューミュージックを演じた人たちが自分のヒットにかまけずに、もっとというか、もう少し、その原点にリスペクトを払っていてくれれば……、なんて思ってしまう。

OFKT-2013 TRI BARREL (尾崎博志／古橋一晃／河合徹三)『詩のかけら』¥2,800-(本体¥2,666-)

ムーンシャイナー6月号特集で紹介したトライバレルのデビュー作。ペダルスティール／ドブ演奏者の尾崎博志と、カントリー／ブルーグラスをこなせるエレキ／アコギ・ギタリストとして京都から東京に移った古橋一晃というふたりの若者を、1970年代に日本のカントリーロックに一時代を創ったラストショー以来、さまざまなメジャーシーンで活躍、カントリー／フォーク界のベースを支えてきた河合徹三が支えるトリオ、「トライバレル」のすばらしいインスト集。カントリースウィングやブルース、バラッドなどカントリーインストの定番に囲まれつつオリジナルも6曲。カントリー系インストではリオン・ローズらの"Honey Fingers"やベアフットジェリーの"Snuff Queen"、そしてマール・ハガードのストレンジャーズ名曲"Stealin' Corn"などの3曲では、カントリー・セッションマンの遊び心が満載。アトキンスやエモンズを例に引くまでもなく、カントリーミュージシャンのジャズやロック／ポップには、その距離をパロディにしたような独特の爽快感が快感なのだがこの3人にも同様の余裕を感じるジャンルを越えた音遊びを楽しむ新ユニットの登場だ。

■インストお勧め作品

COMP-4616 NOAM PIKELNY『Plays Kenny Baker Plays Bill Monroe』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

ベラ・フレック以降のトップを走るパンチブラザーズのバンジョー奏者ノーム・ピケルニーの最新作。ブルーグラスフィドルの一典型を創ったケニー・ベイカーがビル・モンロー作の有名インストをカバーした1976年のブルーグラス史上に残る名盤『Kenny Baker Plays Bill Monroe』(CO-2708 ¥2,573-)を、現在ブルーグラスの最高峰であるノームのほか、ステュアート・ダンカン(f)、ロニー・マッカーリー(m)、ブライアン・サットン(g)、

マイク・パブ(bs)がそのまんまカバー。最初の旋律はケニーのフィドルをそのままバンジョーに載せて弾き、そののち独自のアドリブを重ねていく。なんて美しい流れを創るんだろうノームは！これまでのあらゆる種類の先入観を飛び越えて、自らの心の動きをその都度載せていくその自由な発想とテクニックには完全脱帽、そこまでに至る努力と愛情にただただ感動で、1970年代おじさん達ニヤニヤ・ウキウキの大秀作！！

ちなみにノームの前作『Beat The Devil and Carry A Rail』(COMP-4565 ¥2,573-)は、素晴らしいオリジナルを中心にした21世紀ブルーグラスバンジョー傑作にして激しくお勧め！アールやベラも登場するその超豪華なプロモビデオ(Bluegrass Divaで検索)とともに大推薦！！

CR-021 JOHN REISCHMAN & JOHN MILLER『Road Trip』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

もっとも美しい音のするロイド・ローアと言われてきたジョン・ライシュマンのF-5と、おそらく生指で弾くマーティン18系(OM-18V、またはOOO-18)の素晴らしいトーンとふたりの息遣いが素晴らしいテンションを生み出すマンドリン／ギターのインストデュオ最新第3作品。スウィングからラテンっぽい作品、ジブシー風トゥービートスウィング、地中海風ワルツ、ヨーロッパ教会的なメロディなど、ブラジルのショーロのピシニングーニャと同じくブラジルのジルベルト・ジョの2曲のカバーと1曲のライシュマン作品以外、7曲をジョン・ミラーが書いている。ブルーグラス出身のふたりながら、アコースティック楽器の響きを最大限に理解して、決して技巧に走らずに気色のいい音質とフレージングで押し通すベテランの味わいが実にオトナ。曲によってベースとドラムスを加えるカルテットとなるが、おおむねマンドリンとギターのデュオがメインという印象。そーか、ふたりが岐阜の時山フェスに来たのは12年前の2001年、9.11の3カ月ほど前だった……。ブルーグラスとビードモントブルースが絶妙にまじりあった素晴らしいデュオ。あの時のホッパリ感と同居したスリルはここでも健在。アコースティック楽器ファンに強力お勧め秀作。

1998年作のふたりでのデビュー作『The Singing Moon』(CR-004 ¥2,573-)の在庫、またライシュマンのブルーグラス・マンドリンインスト今年の最新作『Walk Along John』(CR-020 ¥2,573-)の在庫もある。

MFR-130625 JASON DAVIS『Second Time Around』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

インスト作品ではないが、見事に均一でソリッドなロールで今風ソリッドグラスのドライブを主導していく

ジェイソン・デイビスのバンジョーを主役にしたイケイケ! ブルーグラス秀作。ケニー&アマンダ・スミス、ブルーリッジグラスタウンなど、現在のブルーリッジ系ブルーグラスを代表するバンドを経て、現在はトラッドグラスのトップランナー、ジュニア・シスク&ランプラズチョイスのバンジョー奏者の最新第二作。ドン・レノの"Bully of the Town"を「Key of B」の凄いテンションで演じるインストをはじめ、ロン・スチュワートとのフィドル&バンジョーで演じるトラッドスタンダード"Liberty"、アーロン・ラムジー (m) の書いた "Ted's Tune"、そして最後にそのアーロンを迎えて、「何ぼなんでもこの速さはないやろ!!」と言いたくなるスグェー超速でのトラッド"Shamrock"といったインストをはさみながら、各曲に個性的なボーカリストを迎えて、ラルフ・スタンレーの"O' Death"や"Bootleg John"、クリス・クリストファーソン"Darby's Castle"、そしてジュニア・シスクを迎えてのカーター・ファミリーの"Just Another Broken Heart" (これまた超速!!) など全13曲、ロンのフィドルほか、ものすごいドロを聴かせるジョッシュ・スウィフト、無名だがスティル・ハウスというバンドのケビン (m) とキース (g) のマッキンノン兄弟も凄い。歌物中心ですが第一世代のバンジョー奏者の味わいとは違う、爽快なバンジョーロールをお楽しみあれ!

**RC-103 TONY RICE 『got me a martin guitar』
CD-R¥2,070- (本体 ¥1,980-)**

Freeborn Man/Faded Love/Salt Creek/Doin' My Time/
Windy and Warm/John Hardy/Nine Pound Hammer/
Lonesome Ruben.

今秋9月のIBMAアワードショウで名誉の殿堂入りのトニー・ライス。発声困難だった喉、努力の成果として19年前の声を聴かせてくれた感動のスピーチ(11月号特集)。本作は、1973年発表のトニー・ライスのデビュー作。1971年、米国のフェスで見たトニー・ライスに衝撃を受け、何度もの手紙のやり取りの末、意気に感じてくれたのか、日本の名もないレコードレーベルにすばらしいギターアルバムを創ってくれました。あまりにも有名なブルーグラス・ギターの歴史を変えた日本発のデビュー作を、1973年のオリジナル・ジャケットでいかがですか? ブルーグラスギタリスト必携の1枚! 今秋一番の話題のトニー、今度はギターを弾くことに問題が出たとか、2014年1月号ペンでお知らせします。

RUR-1113 MIKE SCOTT & FRIENDS 『Home Sweet Home』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

The Girl I Left Behind Me/Soldier's Joy/Bill Cheatham/
Battle Hymn Of The Republic/Home Sweet Home/
Ashokan Farwell/Swing Low, Sweet Chariot/Turkey
In The Straw/Banks Of The Ohio/Camptown Races/
Bonaparte's Retreat/Bufalo Gals/Angeline The Baker/
The Battlefield. 14曲

10月にクレイグ・ダンカンやビリー・スミスらと来日した元ジム&ジェシーの几帳面なスリーフィンガーバンジョー奏者マイク・スコットが中心になって、ビル・モンローソングをインストにしたヒット作『Blue Moon of Kentucky-- Instrumental Tribute To Bill Monroe』(RUR-1075 ¥2,573-)につづいて、19世紀の南北戦争時代の曲集、すなわちフォスターなどの上記アメリカン・スタンダードを、アダム・ステッフィ、オウブリー・ヘイニー、ティム・スタッフォード、ロブ・アイクス、ベン・アイザックスらと、本来観光地のお土産向けに発売されたものの再編集作品。超一級ピッカーたちの有名曲におけるメロディの取り方/アレンジに納得、楽しめる秀作だ。

ROU-0638 V.A. 『Foggy Mountain Special: A Bluegrass Tribute to Earl Scruggs』 CD¥2,543- (本体 ¥2,450-)

Flint Hill Special/Reuben/Foggy Mountain Special/
Randy Lynn Rag/Sally Goodin/Pike County Breakdown/
Foggy Mountain Rock/Nashville Skyline Rag/Earl's
Breakdown/Steel Guitar Rag/Ground Speed/Foggy
Mountain Breakdown.

2012年3月28日、88歳で亡くなったアール・スクラッグスに捧げられ、同年6月5日に発表された現在トップバンジョイストたちの新録音追悼作品。ティム・オースティンのプロデュースのもと、偉大なアールを尊敬する12人、デビッド・タルボット、ジム・ミルズ、ロン・ブロック、チャーリー・クッシュマン、ラリー・パーキンズ、ロン・スチュワート、トム・アダムズ、J.D. クロウ、ジョー・マリンズ、トニー・トリシュカ、ケニー・イングラム、クレイグ・スミス、あえて言えば、アールの時代(1950~60年代)よりも社会的に煮詰まっているのかも知れない21世紀、それぞれのアールへの思いを込めた、素敵な上記アール聖演12曲のカバー集。ブルーグラスバンジョーへ奏者、ゼットタイのおススメ!! インスト詳細解説参照

■各楽器別お勧め作品

(楽器奏法や教則、またCDに関してはミュージシャン歴豊富なスタッフがアドバイス、また楽器につきまして

は、本体やパーツなど、各種取り扱っています。お気軽にお問い合わせください)

●ギター

OXCD-6023 CLARENCE WHITE 『33 Acoustic Guitar Tunes』 CD 2,573-(本体 2,450-)

ブルーグラス・フラットピッキング・ギターに無限の可能性を与えることになるクラレンス・ホワイトがリード・ギターに取り組みはじめた1962年、ロジャー・ブッシュのリズムギターをバックに、スタンレーブラザーズのジョージ・シャフラー・スタイルのクロスピッキング奏法を中心に収めたホーム・レコーディング集。地味ではあるが、クラレンス・ギターの原点として、そのベーシックを学ぶ第一歩。

MRR-1013 SNYDER FAMILY 『Stages』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

兄ゼブと小学生の妹サマンサのギター／マンドリンとフィドル／ボーカルに父バド (bs) のトリオ、スナイダー・ファミリー 2012 年の第 2 作。7 曲がインスト、6 曲の歌物で 12 歳と 16 歳になった兄妹のスーパーピッキングを堪能する。オリジナルのほか、J.J. ケールのカバーや最後には 2 曲続けてのフォスター、"I am a Pilgrim" ではフラットピックでトラビス・ピッキングに挑戦など。数多いキッズピッカーの中でも群を抜いたゼブ・スナイダーのフラットピッキング・ギター、……子供と侮ってはいかん!!

●バンジョー

(ムーンシャイナー連載のチチ松村「バンジョー祭り」、世界のバンジョー音楽をお見逃しなく!!)

REB-1651 BILL EMERSON 『Home of the Red Fox』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

米海軍軍楽隊ブルーグラスバンドに在籍中の 1990 年に、トニー・ライスをリズムの要に発表した作品 (他にジミー・グドロー、ジェリー・ダグラス、ジム・ブキャナン!!)。ジミー・マーティンからカントリー・ジェントルメン (当時の代表曲 "Theme Time" や "Sweet Dixie" を含む) で鍛えられた極めて端正なスリー・フィンガーが冴える。

●マンドリン

PC-1183 ALAN BIBBY & WAYNE BENSON 『Mandolin Chronicles』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

ともに、いわゆるブルーリッジ系ブルーグラスのスーパーピッカーであるサードタイムアウトのウェイン・ベンソン 43 歳と、グラスタウンのアラン・バイビー 48 歳による楽しい! ツイン・マンドリン集。ビル・モンロー

の特徴的フレーズをモチーフにしたふたりの掛け合いのオリジナル曲にはじまり、ビル・エマーソンのバンジョー名曲 "Sweet Dixie" のマンド対決、ラッセル・ムーアのボーカルを迎えた "Another Night"、そしてマイク・コンプトンに教わったというビル・モンローの未発表曲 "Pilgrim's Knob"、ほかにチャーリー・パーカー曲のジャズマンド対決、最後にトミー・ジャクソンのフィドル名曲 "Crazy Creek" のふたりだけのデュオ・カバーにオリジナルなどを、ロン・スチュワート (bj,f) とワイアット・ライス (g)、ハロルド・ニクソン (bs) という申し分ないメンツを配して、マンドリンファンにはおなか一杯、楽しいお勧めの一枚。

●フィドル

SRCD-1001 VASSAR CLEMENTS 『New Hillbilly Jazz』 CD¥3,150- (本体 ¥3,000-) ボーナス CD-ROM 付

ジャンルを超え、アメリカン・フィドルの歴史の中でもっとも偉大な功績を遺したひとり、バッサー・クレメンツ (1928-2005) のすばらしい 89 年のスウィング・アルバム CD 化。ハンク・ウィリアムズやハンク・スノウらのカントリー名曲が、ゴキゲンにスウィングする。ボーナスに 89 年来日時、奥沢明雄、西海孝、海宝弘之、下村哲を従えての "Midnight Moonlight" と "Kissimie Kid"、そしてそこにラストショーが加わった "Orange Blossom Special" の 3 曲がオマケ。ムーンシャイナー連載「ケイシのナッシュビル・リポート」でおなじみ、故四方敬士氏の秀作。

●ドブロ

TAK-8914 MIKE AULDRIDGE 『Dobro/ Blues and Bluegrass』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

昨年 12 月 29 日、73 歳で死去したマイク・オルドリッジ (ムーンシャイナー 2013 年 2 月号 (MS-3004 ¥525- = 追悼特集あり)、あれからちょうど 1 年だ。ドブロというカテゴリーやブルーグラスというジャンルを超えて、ブアコースティック・インストアルバムとして歴史に残る大名盤。ドブロという楽器の未来を根底から変えたほぼ 40 年前、1972 年発売『Dobro』と 1974 年発売『Blues and Bluegrass』の 2 枚の LP が CD 1 枚になったもの。1955 年にアングル・ジョッシュ・グレイブスによってフラット&スクラッグスに持ち込まれ、6 番目のブルーグラス楽器となったドブロが、これらのアルバムからまったくあたらしい未来を歩きはじめた瞬間を記録。「ドブロ」というくり抜きにしたブルーグラス名盤。当時在籍していたセルダムシーンのほか、デビッド・プロムバークやバッサー・クレメンツ、リンダ・ロンシュタッ

トラを迎えた全人類必携の超大名盤です。

●ペダル・スティールギター

MPI-535494 VARIOUS ARTISTS 『The Big E: A Salute To Steel Guitarist Buddy Emmons』
CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

めちゃくちゃ強力カントリー企画作品『パディ・エモンズ』に捧げられたビンズ・ギルとポール・フランクリンの“Country Boy”からデュアン・エディの“Mansion On The Hill”まで、豪華／かつシビヤなゲストアーティストたちによる全16曲。カントリー音楽のもっとも重要な楽器にまでなった——つまり、それほどまでの楽器に高めた最大の功労者「ビッグ・E」こと、パディ・エモンズ(1937-)。彼のために集まった人たちの創る音楽、悪かろうはずがない、でショ!?! ボーカルがメインの作品だが、インスト新入荷参照

■オールドタイム／フォークお勧め作品

ROU-9150 STEVE MARTIN & EDIE BRICKELL
『Love Has Come For You』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

大推薦です。今年秋のIBMA参加での大きな収穫のひとつ……、アメリカ到着前、成田発デルタ航空の機内オーディオ、なんと最近「アメリカーナ」というジャンルがあり、その中の一枚目のおススメCDがこれだった。一曲目の“When You Get to Asheville”がはじまると「何っ!!」。見事なクロウハンマーバンジョーにオトナな女性の素晴らしいボーカル。そののちも全編がバンジョーと凄い女性ボーカルのオリジナル曲集。そう、ハリウッドスターのステイブ・マーティンとポール・サイモンの妻エディ・ブリッケルのコラボ最新作だった。プロデューサーはジェイムズ・テイラーを発見、数々の名曲を生み出したピーター・アッシャー……、なるほど! 米国ではブルーグラスにカテゴライズされているけど、ジャンル関係なく、こんなに気分のいいアルバムも珍しい。ビルボードブルーグラスチャートで今年一番のヒット作!!

R2-73161 PETER, PAUL & MARY 『Very Best』
CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

Early in the Morning/500 Miles/Lemon Tree/If I Had a Hammer/Where Have All the Flowers Gone/Puff, the Magic Dragon/Cruel War/Stewball 他全25曲

1960年代モダンフォーク時代、ディラン／バエズと並ぶ社会現象となった彼らベスト集。初期のヒット曲から80年代頃までの25曲、現在も社会に対して常にリベラルな立場で発言をつづける彼らの真摯な姿勢は、日本

での懐メロ的な扱いに警鐘を鳴らすか。近年の各個人でのソロ3曲含め、シングルやライブからの音源などを配したお勧めベスト。今2005年に亡くなったジョン・ヘラルドの“Stewball”ほか……。

DTM-025 KRUGER BROTHERS 『Remembering Doc Watson』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

Singing My Trouble Away/Little Sadie/Corrina, Corrina/Trouble in Mind/Tom Dooley/Pallet on the Floor/Streamline Cannonball/Windy and Warm/Freight Train/John Henry/What Does the Deep Sea Say/Hang Me, Oh Hang Me/I Still Miss Someone/Shady Grove. 全14曲

ドック・ワトソンの恩恵をこうむったアコースティックミュージシャンは世界中に一杯いる。モンローやフラット&スクラッグスの影響よりも圧倒的に多いはずだ。ドックはアラバマのルーツミュージックを世界に広めた最大の功労者かも知れない。そのドックの庇護の下に入ったスイス出身の超スーパービッカー兄弟、バンジョー奏者のイェン・クルーガーは現在、バンジョー界のトップに位置するミュージシャンのひとりで、ギター奏者のウーベ・クルーガーもまたフラットピッキング達人。この兄弟にアメリカ人のジョエル・ランズバーク(bs)が参加したトリオ。1997年にドックに初めて会って以来、ノースカロライナに移り住み、その薫陶を受けてきた成果といってもいい——つまり、トラッドと言われながら、実は超モダンなセンスの持ち主だったドック——その音楽センスを「グローバルなスーパービッキングに置き換えた」といった風の秀作である。

■カントリーお勧め作品

B001865502 VINCE GILL & PAUL FRANKLIN
『Bakersfield』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

もう説明不要なまでにストレートなタイトルと主役ふたり、カントリー界の最多グラミー受賞者にしてトップクラスのミュージシャンでもあるビンズ・ギルと現在最高のペダルスティールギター奏者ポール・フランクリン。1961年のバック・オウエンズ“Foolin' Around”からマール・ハガードの“Branded Man”(1967)、そして“Together Again”(1964)……とつづく出だしの3曲ですでにノックアウト。まさに1960年代以降、つまりハンク・ウィリアムズの呪縛から離れたカントリー黄金サウンド、最適の主役と最良のメンバーたちによる再現である。「おそらくカントリー音楽史上、もっとも偉大な5曲ののひとつ」とビンズが言い、もっともスティールギターらしい演奏とも評される“Together Again”において、ポール・

フランクリンのそれはビンスの歌とともに、トム・ブラー
ムリーのオリジナルがあってこそ、あたらしい宇宙を
思う存分に味わえてくれる「すごい」ものだ。ムーン
シャイナー誌で2か月に渡って書いた「ジョージ・ジョー
ンズ追悼、カントリーソング」(MS 6月号、7月号各
¥525-)の結論にも通じる、ボクはこの1曲でも十分な
幸せを味わえる……すごい!!

**SKY-001A 坂本愛江『Someday』¥2,500-(本体
¥2,380-)**

ムーンシャイナー誌6月号特集で紹介したシンガー坂
本愛江(よしえ)。クリス・シャープと笹部益夫のプロ
デュースによるデビュー作はストレートなカントリー
／スタンダード作品。オウブリー・ヘイニーの抑制の
効いたフィドルとスミス・カーリーのベダルスティール
とドブロ、ガスリー・トラップのエレキギターとマン
ドリン、キーボード奏者デイン・ブライアント、そ
して生ベースの第一人者デニス・クロウチらが創る典型
的なホンキートンクカントリーのサウンドをバックに、
ストレートに歌いつづる。20世紀初頭に書かれたとい
うレノ&スマイリー、エルビスもやってたゴスペル名
曲“In the Garden”、ノーと言えるリベラルな南部女性
ロレッタ・リンの“Blue Kentucky Girl”や“You Ain't
Woman Enough”ほか、レイ・プライス“My Shoes
Keep Walking Back to You”、ジョージ・ジョーンズ“If
My Heart Had Windows”、バック・オウエンズ“Under
Your Spell Again”などに、父、坂本孝明とのデュエット
“We Must Have Been Out of Our Minds”(ジョージ・
ジョーンズとメルバ・モンゴメリー)、そして最後は第
二次世界大戦中、兵士たちにもっとも人気のあったとい
う明るいスタンダード“We'll Meet Again”で綴じるア
ルバム、気持ちのいいカントリー／スタンダード作品だ。

**BACM-426 V.A『Custom Made Hillbilly Vol.5』
CD-R ¥2,573- (本体 ¥2,450-)**

1950年代、カントリー／ブルーグラスのリリースで
知られるスターデイレコード社で特注(カスタムメイ
ド)として作られたさまざまなレーベルの録音を集めた
第五弾。本作はすべて1958年録音の全29曲。1950年
代後半、プレスリーのデビュー(1954)後、“Heartbreak
Hotel”(1956)で初めてビルボードナンバーワンをヒット、
文字通り世界がロカビリーブームに沸く最中、本作の約
半数はロカビリーやロックンロールと呼ばれたものに近
い、そんなローカルなヒルビリーシンガーたちが1958
年にカスタムメイド・レーベルに残したさまざまな音源、
半世紀前、アメリカの片田舎に、ウキウキするような時
代が感じられる楽しいノスタルジー作品である。

映像もお勧め作品

**CW-TTJ1D THE TIME JUMPERS『Jumpin'
Time』DVD¥3,308-(本体 ¥3,150-) (約2時間)**

ナッシュビルで毎週月曜日に繰り広げられる懐かし
いカントリーウェスタンからカウボーイ&ヒルビリー・
ジャズの大セッション、タイム・ジャンパーズの超ハッ
ピーライブDVD映像。ビンス・ギルをはじめナッシュ
ビルの超一級カントリーセッションマンが素晴らしい女
性ボーカルとともに、「ただ楽しみのために集まって」
創る音楽には、たっぷりと愛情がこもっている。ゆった
りと座って、ハッピーなエンタメをお楽しみ!!

**INR-13061 JACKSON BROWNE『Live
Concert: I'll Do Anything』DVD¥2,880-(本体
¥2,750-)**

ウエストコーストのアイコンのひとり、ジャクソン・
ブラウンの最新ライブコンサート映像は、バル・マッ
カラム(eg)、フリッツ・リワック(drums)に、ショーン
(g)とサラ(f)のワトキンス兄妹とタイラー・チェスター
(bs,keyboards)と、“These Days”や“Take It Easy”ほ
か代表曲も収められた素晴らしいライブ。ケンタッキー
カーネルズらの本拠地、LAのアッシュグロブなどに
出入りしていたジャクソン・ブラウン(1948-)は高校卒
業直前にニッティグリティダートバンドを結成しており、
元ブルーグラス小僧のデビッド・リンドレイとのコ
ラボでも知られ、現在は元ニッケル・クリークのショ
ーンとサラのワトキンス兄妹を翼の中に抱えるなど、ブ
ルーグラス／ルーツ系の根は深そうだ。今年の夏は6月
から、サラ・ワトキンスをオープニングアクトに全米ツ
アー、テルライド・ブルーグラスフェスではサム・ブッ
シュやジェリー・ダグラスらをゲストに“Take It Easy”
でジャムしている……。

**AHM-11 V.A.『Old-Time Music on the Augusta
Stage』DVD-R¥2,888-(本体 ¥2,750-、90分)**

1973年にアパラチアの伝統芸術を研究／保護するた
めに生まれた非営利団体で、1981年からはウエストバー
ジニア州デイベイズ&エルキンズ大学がスポンサーとなっ
ているオーガスタ・ヘリテージ・センターが毎年夏に開
く「オーガスタ・ヘリテージ・フェスティバル」からの
映像集。ブルーグラス・フィドラーとしても活躍したア
ート・スタンパー(1933-2005)や、最後のランドピーク・
スタイルのフィドラーといわれたベントン・フリッペン
(1920-2011)ら現在では聴く／見ることのできない貴重な
オールタイムヤーをはじめ、ジェイムズ・ブライアンや
ジョー・ニューベリー、ライリー・ボウガスらのソフィ

ステイケートされた現代のトップ・オールドタイマーたち、またウェイン・ヘンダーソン／エディ・ベニンソン／ロビン・キッシンジャーによるカーター・ファミリーチューンやラグタイムなどギター奏法のショウケースなど、最後にはブルーハイウェイのティム・スタッフォードの叔母が書いた詞の見事なアカペラコーラスで終わる。おもにフィドルとバンジョー音楽を軸に、さまざまなオールドタイム音楽の形を見せてくれる映像26曲集。生活の中で息づいてきた本物のオールドタイム音楽を現在も継承しようとする人たちのすばらしい記録である。

SOTM-2011 V.A. 『Song of the Mountain: Season 6』 DVD 映像集 ¥2,888- (本体 ¥2,750-)

Joe Mullins & Radio Ramblers “Katy Daley” / Redhead Express “Maple Sugar Daddy” / Likewise “Hard Ryde” / James Leva & Purgatory Mountain “Old Joe Clark” / Doc Watson & Jeff Little “Whiskey Before Breakfast” / Michael Reno Harrell “Greyhound Station” / Donna Ulisse “Caney Creek To Cannan Land” / North Sea Gas “Bonnie Lass O’Fyvie” / Snyder Family “Bill Cheatham” / Chuck Wagon Gang “Beautiful Life” / Primitive Quartet “Didn’t He Shine” / VW Boys “Rooster Song” / Grascals “Sally Goodin” .

2005年からはじまった米国公共放送ネットPBSのローカル番組のDVD「シーズン1」(SOTM-2008 ¥2,888-)が高い評価を得て、次第に全米に配信され、第2シーズンが終わるころには全米163のTV局で放映されるまでになっていたという、バージニア州マリオンの歴史的なリンカーン劇場500席を舞台に、5バンド前後のブルーグラス／オールドタイムバンドを集めて繰り広げられる地元のシニア層を対象にしたコンサート。VWボーイズというコミックバンドを率いるティム・ホワイトが、あくまでも南部アパラチア・ローカルの雰囲気壊さずに積み上げてきたTV番組の2011年収録の「シーズン6」からのベスト映像集。ジョー・マリンスとレディオランブラーズをはじめ、グラスカルズやドナ・ユリッシー、話題のフラットピッカー、ゼブのいるスナイダーファミリーやオールドタイムのジェイムズ・リーバ、さらにはドック・ワトソンまでもが登場する。ブルーリッジ地方のフツの音楽と、それを楽しみミュージシャンたちを勇気づける観衆たちの日常が体験できるライブ映像集。

RC-127D BLUEGRASS 45 『That’s the Time: 1996 Reunion』 DVD-R ¥2,573- (本体 ¥2,450-、カラー 43分)

You’d Better Get Right/Little Maggie/Blues Stay

Away from Me/Orange Blossom Special/Blue Moon of Kentucky/Sudara Breakdown 他全11曲

昨年11月、結成45周年記念全国ツアーをしたブルーグラス45。1967年、NYのフォーククラブを模した神戸元町のコーヒeshop「ロストシティ」で結成された、ジョッシュ大塚、渡辺敏雄、廖学誠、李健華、大塚章、渡辺三郎の6人組ブルーグラス・バンド。神戸のメリケン波止場の船員や米兵に人気を博し、1971年6月から9月まで、米国東部／南部とカナダをツアー、当時はじまったばかりの米国ブルーグラス・フェス・サーキットでセンセーションを巻き起こし、米レベ社からLP2枚を発表、帰国後解散。そののち1996年春、前年の阪神大震災を機に解散25年を記念してリユニオン・ツアーしたとき、カメラマンの吉田恒星が制作監督したライブ・ドキュメント映像作品。

MP-0410 V.A. 『Pioneers and Legends of Bluegrass』 DVD ¥2,573- (本体 ¥2,450-、カラー 55分)

Mule Skinner Blues/Rawhide(Bill Monroe)/Folsom Prison Blues/Shuckin’ the Corn(Lester Flatt)/That Silver Haired Daddy of Mine/Tis Sweet To Be Remembered 他(Mac Wiseman)/Are You Washed in the Blood 他(Lewis Family)/Hard Hearted/Paradise/Cotton Mill Man(Jim & Jesse)/500 Miles/I’ll Stay Around(Bluegrass Alliance) 他全15曲

米国ブルーグラス界でさまざまな出来事があった特異年、1971年夏のブルーグラスイベント、元気なビルモンやレスターほか、マック・ワイズマンやジム&ジェシーら、第一世代ブルーグラスのトップアーティストたち、そしてまだNGR結成寸前、19歳のサム・ブッシュと20歳のトニー・ライズが参加するブルーグラス・アライアンスのライブ2曲をはじめとした超お宝映像集!!

MP-0510 LESTER FLATT & NASHVILLE GRASS 『Vintage Video』 DVD ¥2,573- (本体 ¥2,450-、カラー 55分)

フラット&スクラッグスとして来日したときは体調が悪かったというレスター・フラット(1914-1979)、3年後の1971年、ここでは元気ハツラツ、ボーカルはもちろんそのギター／MC／身のこなし……レスター・ファンのお宝映像だ。69年春にアール・スクラッグスとコンビ解消、アंकフル・ジョッシュ(d)とポール・ウォーレン(f)、ジョニー・ジョンソン(bs)というフォギー・マウンテン・ボーイズにハスケル・マコーミック(bj)とローランド・ホワイト(m)が加わったナッシュビル・グラスを悠々と率いて、その類まれなパフォーマンスを見せて

くれる 1971 年夏の野外ライブ。ファン必携映像!!

■教則ものお勧め

下記のほか、教則に関しては演奏レベル／ニーズに応じて、ご相談ください。

RW-TAB ROLAND WHITE『Approach to Bluegrass Mandolin』CD 2 枚組 +Book¥6,090- (本体 ¥5,800-)

ベストセラー!! ローランド・ホワイトのブルーグラス・マンドリン入門教則 CD 2 枚組 + 60 頁タブ本。「キャベツ」から "Jerusalem Ridge" までブルーグラス・スタンダードの全 32 曲、その暖かい人柄に包まれながら、おいしいブルーグラス・マンドリンの本質を、初心者から中級者まで学ぶことができる。

CDZ-TT01 TONY TRISCHKA『Teaches 20 Easy Banjo Solos』BOOK+CD¥3,413- (本体 ¥3,250-)

Shortenin' Bread/Ground Hog/Shady Grove/Train 45/Sally Johnson/Wildwood Flower/Roll in my Sweet Baby's Arms/Pretty Polly/Nine Pound Hammer/Sitting On Top of the World/John Henry/Little Liza Jane/Casey Jones/Little Maggie/Back Up and Push/Redwing/Little Rabbit/Uncle Joe (Hop High Ladies)/Alabama Jubilee/Cumberland Gap.

スクラッグス／キース以降、第二世代のブルーグラスバンジョーリーダーの一人、トニー・トリシュカが教えるブルーグラスバンジョー入門編。上記有名 20 曲を、簡単なアレンジで 32 頁のタブ譜と、スローバージョン含んで一緒に弾ける CD 付。

CDZ-SM01 SAM BUSH『Teaches Mandolin Repertoire & Technique』BOOK+CD¥3,413- (本体 ¥3,250-)

Cotton Patch Rag, Tom & Jerry, Leather Britches, Lime Rock, Banjalin, Diadem, Norman and Nancy, and Russian Rag.

1970 年代以降のブルーグラスマンドリンの歴史を作ったサム・ブッシュ本人が教えるブルーグラスマンドリンのレパートリーとテクニックの極意...!? サムの上記有名 9 曲を楽譜、タブ譜、コードなど 40 頁の教本と、59 トラックにわたる CD で分解して紹介するシビアな実践向き教則。

CDZ-TR01 TONY RICE『Teaches Bluegrass Guitar』BOOK+CD¥3,413- (本体 ¥3,250-)

Red Haired Boy/Little Sadie/Your Love Is Like A Flower/Blue Railroad Train/Home From The Forest/

Wildwood Flower/Old Train/Wild Horse/Jerusalem Ridge.

ブルーグラスギターの歴史を作った今話題の人、トニー・ライス本人が教えるブルーグラスギターの極意...!? トニーのスタイルが堪能できる上記有名 9 曲を楽譜、タブ譜、コード譜など 24 頁の教本と、79 トラックにわたる CD で分解して紹介する。

CDBARRR02 RUSS BARENBERG『16 Fiddle Tunes for Guitar』BOOK+CD¥3,413- (本体 ¥3,250-)

Dominion Reel/ Road to California/ Spootiskerry Reel/ Flowers of Edinburgh/ Goodbye Liza Jane/ Fisher's Hornpipe/ Waynesboro/ Opera Reel/ Round the Horn by Jay Ungar/ Trip to Durrow/ Snowshoer's Reel/ Mac Ilmoyle's Reel/ Miller's Reel/ Rose in the Heather/ Mary Douglas/ Midnight on the Water.

上記、フィドルチューンをフラットピッキング・ギターのタブ譜と、スローバージョン含んだ音源とともに一緒に弾ける CD 付。

■スクラッグス虎の巻コピータブ譜集

TIM-1『Complete Mercury Recordings: Three Finger Classics #1』Tab¥1,050- (本体 ¥1,000-)

TIM-2『Complete Mercury Recordings: Three Finger Classics #2』Tab¥1,050- (本体 ¥1,000-)

TIM-3『Foggy Mountain Jamboree』Tab¥1,050- (本体 ¥1,000-)

TIM-4『Kings of Bluegrass』Tab¥1,050- (本体 ¥1,000-)

アール・スクラッグスのフラット&スクラッグス録音のオリジナル LP 順にバンジョー可聴部分をバックアップを含めて某スクラギストがタブ譜化した小冊子シリーズ（発表後の研究の結果、若干の解釈違いがあるという）。CD 音源は、最初のマーキュリー録音 (1948-1950) は『Complete Mercury Recordings』(B000007002 CD¥2,573-) で TIM-1 と TIM-2、1957 年発売の Foggy Mountain Jamboree (COL-77627 CD¥2,079-) が TIM-3。TIM-4 の『Kings of Bluegrass』は単独アルバムとしては廃盤だが、上記 3 冊分 (CD 2 枚分) も含まれているフラット&スクラッグス全曲集第 1 集『Flatt & Scruggs 1948-1959』(BCD-15472 CD 4 枚組 ¥11,550-) に全曲が収められている。

楽器、その他……

MISC-0007 REMO 『Banjo Head』 ¥3,675-(本体 ¥3,500-)

ブルーグラススタンダード、レモ社のバンジョー・ヘッド。バンジョー・ヘッドのベストセラー。11 インチ。ギブソンは純正パーツとして採用している。

**[ディーリング・グッドタイム・バンジョー]
MISC-GOODT Deering Goodtime Banjo
¥63,000-(本体 ¥60,000-)**

Greg Deerong が、バンジョーを広く楽しんでほしいという思いからで上がった Goodtime バンジョー。バンジョー王国アメリカのプライドを持って、全て California Spring Valley の工場で作られています。ロックメイプルネックと3プライ、バイオリングレードメイプルリムのスペックは、ウォリュームあるサウンドを生み出しています。初心者、ベテランピッカー問わずおすすめのバンジョーです。リゾネーター付バンジョーもあります ¥89,250(本体 ¥85,000-)

[ロアー・マンドリン]

ビル・モンローが生涯愛した F-5 ロイド・ロアー。そのサウンドに近づけるべく研究し尽くし、こだわりを踏襲し、ついに Loar の名を冠するに値する楽器が誕生。ボディは全機種ハンド・カーブドで丁寧に削り出し、ネックには1ピース・ハードロックメイプルを使用。

**LM-520-VS 『The Loar Mandorin LM-520-VS』
¥84,000-(本体 ¥80,000-)**

Kentucky と並んで、世界の若いブルーグラスサーをフォローする Loar マンドリン。ソリッドカーブドボディで信じられない価格です。チューニングをしっかりとホールドするため、Grover ペグの搭載も嬉しくて心憎いスペックです。V シェイプネックとウォー インターフェイスンバースト というのもちょっぴりオールドっぽいです。

[組立てキット]

久々にホスコ社組立てキットのご紹介です。

V-KIT-1 『バイオリンキット』 ¥15,750-(本体 ¥15,000-)

製作目安日数：2～3 週間

難易度：★★★★★

材質：スプルース単板 / メイプル単板

高度な技術が必要なバイオリン製作ですが、精度を求められる部分が加工済みとなったパーツを組み立てることで、自宅での製作も可能になりました。ケース、弓が付属しています。(メーカーサイトより)

GR-KIT-D2 『フォークギターキット、マホガ

ニー』 ¥16,800-(本体 ¥18,000-)

**GR-KIT-D3 『フォークギターキット、ローズ
ウッド』 ¥19950-(本体 ¥19,000-)**

製作目安日数：2～3 週間

難易度：★★★★★

材質：スプルース合板 (全機種共通)

※ オプションとしてスプルース単板トップ材 + マルチサウンドホールロゼット ¥5,775-(本体 ¥5,500-) もございます。

**UK-KIT-6M 『ハイグレードウクレレキット、全
単板』 税込定価 ¥18,900-(本体 ¥18,000-)**

製作目安日数：2～3 週間

難易度：★★★★★

材質：マホガニー単板

よりクオリティの高い、ハイグレードなソプラノウクレレを作ることができるキットです。高品質のギターやウクレレを生み出すことで知られるベトナム・Ayers 社製のこのキットは上質のマホガニー材を使用した、完成時の満足度も高いキットです。(メーカーサイトより)

**UK-KIT-6K 『ハイグレード S.Uke キット、全単
板』 ¥26,250-(本体 ¥25,000-)**

製作目安日数：2～3 週間

難易度：★★★★★

材質：コア単板

よりクオリティの高い、ハイグレードなソプラノウクレレを作ることができるキットです。高品質のギターやウクレレを生み出すことで知られるベトナム・Ayers 社製のこのキットは上質のコア材を使用した、完成時の満足度も高いキットです。(メーカーサイトより)

[Boulder Alpine Series バッグ]

持ち運びに便利なギグバッグでありながら大切な楽器をしっかりとガードする剛健さがアウトドアでのフェスに参加するブルーグラスサーを中心に話題となっている Boulder Alpine Series バッグです。

リュック・ストラップは体にしっかりとフィットするカットがされており、長時間の持ち運びによる負担を軽減しています。またストラップのバックルが直接身体に触れないようにカバーされていたり、ファスナーが楽器に当たらないようエクストラパッドでカバーされるなど、ユーザーと楽器の双方に優しい設計となっています。

CB-320 『F マンドリン用ケース』 ¥6,825-(本体 ¥6,500-)

CB-360 『ドレッドギター用ケース』 ¥7,350-(本体 ¥7,000-)

**CB-367『オープンバックバンジョー用ケース』
¥7,350-(本体 ¥7,000-)**

**CB-369『バンジョー用ケース』 ¥7,350-(本体
¥7,000-)**

ボウルダー・ブランドのアルパイン・シリーズ、お手頃価格のブルーグラス用ギグ・バッグが勢ぞろい。スマートなデザインと持ちやすさ、担ぎやすさは抜群、恥ずかしながら、わたしもよる年波には勝てず、とても気に入って愛用しております。外から見ても、「お、バンジョー!」とか、「お、Fタイプ」とか分かるのも、くすぐるね。色はそれぞれ、フォレストグリーン(緑)、ネイビーブルー(青)、タン(黄褐色)の三種類。

[楽器メンテナンス承ります!!]

バンジョー、マンドリン、ギター、フィドル等々、長年お使いの愛器のメンテナンス引き受け。各楽器のエキスパートによる修理、調整で甦ります。何なりとご相談下さい。

輸入雑誌

(以下の4誌は英語版で、共にバックナンバーも豊富に取り揃えています。気になるアーティスト等の特集等についてはお問い合わせ下さい。…調べる&知るの面白さはいかがですか)

■フラットピッキング・ギター誌

隔月刊の掲載全タブ譜対応CD付きフラットピッキング・ギター誌。ブルーグラスからスウィング/ジャズまで。一冊でさまざまな奏法が学べる。

**FGM-18.1 最新「2013年11～12月号」CD付き
70頁 Tab-Book¥2,625-(本体 ¥2,500-)**

/First of May/Handful of Riffs/Nellie Kane/When You're Smiling/Silent Night/Ages and Ages Ago/John Hardy/Whispering/The Night Has A Thousand Eyes/Cattle in the Cane/Rabbit in a Pea Patch/Sheep & Hogs/Turkey in the Cotton Woods ほか

話題のクエベ・シスターズのギタリスト、ジョーイ・マッケンジーのカバーストーリーとウエスタン・スウィングの典型的なバックアップ、ソックリズムのコード進行ノウハウ“Home In San Antone”と“Right or Wrong”、マイケル・デイビス(クリス・シーリのブラザーデュオ相手)と“John Henry”ほかの特集と上記曲に関するコラム/タブ譜ほか、クロスピッキングのアクセントや「きよしこの夜」のジョン・カーリニによるアレンジ、ウエスタン・スウィングのコード進行が満載の72頁。

**FGM-17.6 最新「2013年9～10月号」CD付き
70頁 Tab-Book¥2,625-(本体 ¥2,500-)**

Amazing Grace/Munde's Child/Crying Holy/Old Gospel Ship/Precious Lord/Never Give the Devil a Ride/Gathering Flowers from the Hillside/You Are My Sunshine/Swing Low, Sweet Chariot/Old Time Religion/Gnarly/Cottonwood Reel/Done Gone/Salty Dog Blues ほか。

レターでも紹介したギターアルバム『Grace Notes』を発表したカール・ジャクソンをカバーストーリーに“Amazing Grace”のタブ譜ほか、エリオット・ロジャーズ、ジョン・バクゼンデルのコロラドギターカンパニー訪問、CDハイライトはアンドリュー・リグニー、新製品紹介などの記事のほか、とにかくタブ譜満載の70頁。

以上のほか、現在の在庫は2013年1-2月号、2012年11-12月号、2012年5-6月号、2011年7-8月号、2011年5-6月号、2010年3-4月号、2010年1-2月号など、お問い合わせください。

■バンジョー・ニューズレター誌

BNL-13/11 最新2013年11月号 ¥630-

ムーンシャイナー誌のちょうど10年先輩、バンジョー・ニューズレター誌が11月号で創刊40年を迎えています。「バンジョー好き」という理由だけで、無謀な創刊に飛び込んだハブとナンシーのニッチー夫妻への感謝のメッセージや創刊当時の歴史などの特集のほか、IBMA (WoB) 2013リポート特集と、アール・スクラッグス“Will the Circle Be Unbroken”ほかのタブ譜など、バンジョーに関するさまざまな情報が満載。

BNL-13/10 2013年10月号 ¥630-

ベラ・フレックのバンジョーサミットのレギュラーでもあるパンクなクロウハンマーの名手、リッチー・スターンズのカバーストーリーとタブ譜“Last Train To Rajastahn”のほか、初心者には“Lonesome Road Blues”のバックアップ、アール・スクラッグスはライブテープから“Sugarfoot Rag”、トム・アダムズはスタンダード曲“Five Foot Two, Eyes of Blue”、マーティ・カトラー“Gold Rush”パリエーションその1ほかのタブ譜と、バンジョーに関するさまざまな情報が満載。

BNL-13/09 2013年9月号 ¥630-

現在はドン・リグスビーのミッドナイトコールのバンジョーを務めるベテラン、エルマー・パーチェットのカバーストーリーとタブ譜は“Whistle Pig”(デビッド・パームリー&コンティネンタルディバイドの2000年秀作『There'll Always Be a Rocking Chair』=在庫あり=PC-1095 廃盤特価 ¥1,575-) ほか、知られざる凄腕ルシア、ロニー・ペイルズ(顧客にはベラ・フレック、ノーム・

ビケルニー、カーティス・マクピーク、ラリー・マクニリー、ビル・エバンスらがいるという）訪問インタビュー、今夏のサマー NAMM ショウでのバンジョーリポートなどの特集と、レッスンタブ譜はフレッド・ゲイガーのジャズコード “Georgia On My Mind”、アールズウェイ “Sugarfoot Rag”、トム・アダムズ F シェープの 7th コードリック “I Wonder Where You Are Tonight” など、有益なバンジョータブ譜と情報満載の 40 頁。

BNL-13/08 2013 年 8 月号 ¥630-

ニューヨーク・ブルーグラスのもっともホットなエリア、ブルックリン在住の若者ベネット・サリバンのカバーストーリーとタブ譜 “Cutch Tuttle” ほか、トム・アダムズ “Bury Me Beneath the Weeping Willow”、アール・スクラッグスは 1948 年 2 月、ほぼ最後のビル・モンロー在籍メンバー当時の録音 “Sunny Side of the Mountain” と「アールズウェイ」は “Old Gray Mare” ほかクロウハンマーも充実、有益なバンジョータブ譜と情報満載。

BNL-13/07 2013 年 7 月号 ¥630-

話題の第一世代ブルーグラスバンジョーのフォロワー、クリス・ヒルのカバーストーリーと “If That Footsteps That I Hear” と “I Get the Blues When It Rains” のタブ譜、曲はともにトム・フェラーとのブルーグラス・バックルーズ 『Feller and Hill and the Bluegrass Buckaroos』(BCR-035 ¥2,573-) より。そのほか、レノ・スタイル “Mr. Bottle”、トム・アダムズ “Rock Around the Clock” ほか、“Beaumont Rag”、“Lady Be Good”、“St. Anne's Reel” などとオールドタイム／クロウハンマーなどのタブ譜満載。

BNL-13/06 2013 年 6 月号 ¥630-

ディック・ワイズマン (Dick Weissman) のカバーストーリー……って誰？って思うよね。でもきっと、結構多くのひとが見たことのある、ウッディ・アレンみたいな人が楽器店のようところでオープンバックのバンジョーを弾いていて、その写真が、斜め上にダブってコラージュされているジャケット、タイトルは『Modern Banjo Mountain Style』……覚えていませんか？ 1961 年にはフォークグループ、ジャーニーメンを結成、フォーク界の知られざる最先端を歩んできたディックのインタビュー。人に歴史あり！ フォークのみならず、スクラッグスやボビー・トンプソン、ライ・クーダーやビル・ダノフら、さまざまな登場人物の逸話も楽しい。そのほかタブ譜は、アール・スクラッグス “Red River Valley” (ハートフォードとのジャムテープより、この逸話が面白い!!)、初心者には “When You and I Were Young Maggie”、ブルース “I'm So Glad”、トム・アダムズ d チュー

ニングの “Cumberland Gap”、ジェリー・リード “Jerry's Breakdown”、ドビュッシー “Reverie”、リッチ・ステイルマン “Cascade” ほか、クロウハンマーなどのタブ譜満載。

BNL-13/05 2013 年 5 月号 ¥630-

ティム・ウィードのカバーストーリーのほか、アメリカン・バンジョーキャンプ・リポート、クロウハンマーで弾くバッハの特集ほか、タブ譜はアール・スクラッグスがハイロ・ブラウンとライブ録音を残した関連な “Prisoner's Song”、アラン・マンデ “Cotton Patch Rag” ほか、バンジョーに関するタブ譜と話題満載 40 頁。

BNL-13/04 2013 年 4 月号 ¥630-

アリソン・クラウスのユニオン・ステーションのロン・ブロックをカバーストーリー／インタビューにタブ譜は、ジェリー・ダグラス作アリソン・クラウスの『New Favorite』に収められていた “Choctaw Hayride” と同アルバムからの “Take Me for Longing”、そして最新作『Paper Airplane』からの “My Love Follows You Where You Go” ほか、ニューロストシティ・ランブラーズのジョン・コーヘンのシビアンインタビュー「On Old-Time Music Before There Was 'Old-Time'」とタブ譜 “Cumberland Gap” と “Buck Creek Girls” ほか、タブ譜は “Fireball Mail” のインプロバイズ、トニー・トリシュカの 3-0-2 リックによる “Black Mountain Rag”、トム・アダムズのハイポジションのレッスンはスクラッグス・リックのバリエーション。ディーリング・バンジョー社のリポートもあるバンジョーに関する話題満載 40 頁

BNL-13/03 2013 年 3 月号 ¥630-

トニー・ライスらと「クロウグラス」という、ブルーグラス・バンドのセッティングでクロウハンマーを弾く独自の世界を築き、昨秋は第 3 回スティープ・マーティン賞を受賞したマーク・ジョンソンのカバーストーリーと “Marching Through Georgia” (パイのパイのパイで知られる東京節) のタブ譜ほか、アール・スクラッグスのライブテープからオタク美学の “Your Crazy Heart”、フレッド・ゲイガーのコード遊びは 1931 年のビング・クロスビー “Wrap Your Troubles in Dreams”、トム・アダムズはハイポジにおける D から G へ戻る 10 の方法、ジャネット・デイビスのバックアップは C チューニングにおける “Soldier's Joy”、ジャム・スタンダードを变拍子で楽しむジェイク・シェップスの 7 拍子の “Whiskey Before Breakfast” と 5 拍子の “Blackberry Blossom”、ティム・カーターの “Waltz for Earl” ほか、各種クロウハンマーなど、バンジョーに関する話題満載 40 頁。

BNL-13/02 2013 年 2 月号 ¥630-

2011 年の IBMA 最優秀バンジョー奏者で、ただひとり最優秀フィドル奏者も獲得しているロン・スチュワートのカバーストーリーとタブ譜は "Crawford County"、ロジャー・シミノフによる「ブリウオーサウンド part 2」はアール・スクラッグスの右手の攻撃に関する考察、初心者は「知っておくべき 10 のリック」、トム・アダムズは「タブを書こう!」、ジャネット・デイビスのバックアップは "America the Beautiful" をネタにセブンスコードの使い方、アール・スクラッグスは先月に続いてジャムでの "Walking the Floor Over You" ほか。

BNL-13/01 2013 年 1 月号 ¥630-

懐かしや! アンディ・オウエンズと来日したジェフ・スロギンズのカバーストーリーとタブ譜は "Woodland Arch" と "Boundary Hunter"、そのほかアール・スクラッグスはシラブルで弾く "Walking the Floor Over You"、ハーモニー研究「枯葉③」、トム・アダムズは「発見されるのを待つ音たち」と題したちょっとしたアイデア集、バックアップは "Old Spinning Wheel"、初心者コーナーはコード進行のパターンリストほか、オールドタイム・コーナーと、バンジョーに関する話題満載 40 頁。

■ブルーグラス・アンリミテッド誌

米国の最大のブルーグラス月刊専門誌。お探しの記事などバックナンバーもお問い合わせください。

BU-13/12 最新 2013 年 12 月号 ¥840-

IBMA (WoB) 2013 のカバーストーリーと写真リポートほか、アラン・ジャクソン、カール・シフレット & ビッグ・カントリーショウ、フィル・レッドベターの特集記事のほか、米国ブルーグラス情報満載の 60 頁。

BU-13/11 2013 年 11 月号 ¥840-

トム・T. ホールの妻でソングライターとしてブルーグラスやカーターファミリーの庇護者でもあるディキシー・ホールのカバーストーリーほか、ウエイド・メイナーとアール・スクラッグスの日本のグラナダ因縁、ブルーグラス奨学金の紹介、ティム・グレイブスの新バンド、ファームハンズ、ブッキングエージェントのクラスアクトなどの特集記事のほか、米国ブルーグラス情報満載の 52 頁。

BU-13/10 2013 年 10 月号 ¥840-

マーティ・レイボンのカバーストーリーほか、フィンランドのブルーバンド、ジュシ・シレンとグランドブレイカーズ。マンドリンやギタールシアーのシム・デイリー、ブルーグラスソングライターのジェリー・サリー、2014 年タレント・ディレクターなどの特集ほか、米国ブルーグラス情報満載の 76 頁。

BU-13/09 2013 年 9 月号 ¥840-

あたらしいトラッドグラスの形を提示するビッグ・カントリー・ブルーグラスをカバーストーリーに、ジミー・マーティントの活躍で知られるクリス・ワーナー、デイリー & ビンセントのマンドリン奏者ジェフ・パーカー、ピーター・ワーニック博士のブルーグラスジャム法などの特集ほか、米国ブルーグラス情報満載の 72 頁。

BU-13/08 2013 年 8 月号 ¥840-

スティーブ・ヒューバーが復活させたウエイド・メイナーの 1930 年製ギブソン・グラナダ #9530-4 をカバーストーリーに、今年からノースカロライナ州ローリーに移る IBMA のワールドオブブルーグラス、その誘致に尽力した団体バインコン、ビル・モンローの愛人だったベッシー・リー・モウルディン、そしてギブソン・ビラミッド・バンジョーと呼ばれた戦前のマスタートーン・スタイル 2 の物語などの特集のほか、米国ブルーグラス情報満載の 64 頁。

BU-13/07 2013 年 7 月号 ¥840-

ロニー・レノのカバーストーリーほか、タウンマウンテン、デニス・マクブライド、「ヒルビリー」という言葉の由来となった 1920 年代のバンド、ザ・ヒル・ビリーズの正体ほか、米国ブルーグラス情報満載の 66 頁。

BU-13/06 2013 年 6 月号 ¥840-

リッキー・スキャッグスのカバーストーリーのほか、リッキーのハーモニーパートナーを 18 年間努めるポール・ブルースター、ライマン公会堂再建物語、ラス・カーソンとグレン・カーソン「バンジョーファミリートゥリー」、若手ヒルペンダーズなどの特集のほか、米国ブルーグラス情報満載の 70 頁。

BU-13/05 2013 年 5 月号 ¥840-

スティールドライバーズをカバーに、ポール・ウィリアムズ、ジョー & ステイシー・アイザックス、バンジョー・サファリのアフリカ旅行記などの特集ほか、定期コラムなど米国ブルーグラス情報満載。

BU-13/04 2013 年 4 月号 ¥840-

キャシー・キャリックとスピニー・ブラザーズをカバーに、ジム・ハーストのソロについて、ビル・モンローやデル・マッカーリーとの活躍で知られるトラッドグラス・フィドラー、ビリー・ベイカーなどの特集ほか。

BU-13/02 2013 年 2 月号 ¥840-

ジム・ローダーデイルのカバーストーリーほか、マンドリンのスーパーピッカー、アラン・バイビー、ギター若手ジョーダン・タイス、オハイオのジェッツ・クリークなどの特集ほか。

BU-13/01 2013 年 1 月号 ¥840-

サム・ブッシュを表紙に恒例の全米ブルーグラス・フェスリスト（数百箇所）と、プリストル・リズム&ルーツ・リユニオン・フェス、ルディ・フェス、マウンテン・オーブリーハウスなど、各地のイベント特集に連載コラムほか。

■オールドタイム・ヘラルド誌

内容の濃いオールドタイム音楽専門誌。アメリカン・トラッド音楽研究に必読の良書!!バックナンバーが揃っています。お問い合わせください。

OTH-1303 最新第13巻3号 ¥1,260-

アルバート・ハッシュ・メモリアル・フェスのレポート、ミズーリ・フィドラーのR.P.クリステンソン、ウォルト・コーケンの連載「Tales from the Woods Vol.3」など、オールドタイム／アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1302 第13巻2号 ¥1,260-

全米フェス&キャンプガイド特集のほか、西アフリカ・ガンビア共和国ジョラ族のアコンティング奏者ラエモウアヒュマ・ジャッタのインタビュー、ウォルト・コーケンの「ハイウッド・ストリングバンドからの逸話②」は「ショッティーシュ（ボヘミア起源のダンス）」など、オールドタイム／アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1301 第13巻1号 ¥1,260-

ダン・マーゴリーズ「ハンドメイド弦〜猫と馬の尻尾から生まれる音楽」をメイン特集に、アート・ローゼンバウム「北部ジョージアでの1日」、ウォルト・コーケン「ハイウッド・ストリングバンドからの逸話」シリーズ第1回など、オールドタイム／アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

月刊『ムーンシャイナー』

1983年11月の創刊以来、毎月発行を続ける日本唯一のブルーグラス月刊専門誌、31年目突入です。何卒、年間契約をよろしく願います!

■定期購読：1年¥6,000- 半年¥3,300-

お申込はお書やお電話、ファックスやメールでご希望の購読開始月をお知らせ下さい。バックナンバーも含めて、いつからでもご自由です。

■バックナンバー：各¥525-

下記以外にも、アーティストや知りたい事をお知らせ下さい。掲載号を探してお送りします。

MS-3102 最新2013年12月号（通巻362号）¥525-

IBMA (WoB) 2013 レポート「ノースカロライナってどんなところ?」、女子大生の見た「ワイドオープン・ブルーグラス」、タヒチクラブ「新春★浪花 米国南部系ルーツ音楽祭」、愛媛・朝倉ブルーグラスの25年、馬渡 浩

の札幌ブルーグラス物語り②、知っておきたい...#5「フラットピッカー達」、日本ブルーグラス年表 #70「1978年」、3大学対抗! 年忘れライブ酪農学園大学「花村彩音」ほか、日米ブルーグラス情報満載の40頁!!

MS-3101 2013年11月号（通巻361号）¥525-

31年目の第1号、IBMA 名誉の殿堂入りのセレモニーで「奇跡」を起こしたトニー・ライスのスピーチほか、第24回 IBMA アワードショウ・レポート、マイク・コンプトン「ビル・モンローの魂」12月来日、ブルーグラス☆ボリスのデビュー CD『BG★PC』、馬渡浩の札幌ブルーグラス物語り①、やぎたこ「I'll be home someday」、きたむらいづみ「彦根にアメリカーナ」、ハットゥブレイブルーグラス! その伍ほか、日米ブルーグラス情報満載の40頁!!

MS-3012 2013年10月号（通巻360号）¥525-

やりました! 通巻360号、購読してくれる皆さん、ボランティアで情報や記事、写真を提供してくれる皆さん、そんなダイハードなブルーグラスファンの皆さんのお陰で30年間、何とか持ちこたえました。これからいつまで頑張れるか、体力と根気の勝負ですかね、こうなると?

ひきつづき皆さんのお引き立てを、何卒よろしくお願い致します。本当に、ありがとございます!!

記念すべき360号は、日本でデビューして、最年少でIBMA 名誉の殿堂入りをしたトニー・ライス秘話のほか、1958年に結成されたイースト・マウンテン・ボーイズがIBMA 特別功労賞を受賞するにあたって彼らの年表と紹介、そして日本の戦前・戦後における「洋楽」の受容についての特集記事、中学生ソフィア美玲キャタリナの「ウィザー・フィドル・コンテスト」参戦記、ハットゥブレイ・ブルーグラス #4「続アールの日」、最新トラッドグラス事情「レベル・レコード編」、コンサートレポート「mareka & Junji vs 三津谷組」、カーター・ファミリーとボブ・ディラン、東北大「荒川善行」、ネッシーエクスペディション 37年目の渡米顛末記⑤ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3011 2013年9月号（通巻359号）¥525-

フラットピッキングターに魅せられた女性レベッカ・フレイジャー、その初々しい半生を紹介したカバーストーリーのほか、クレイグ・ダンカン、ビリー・スミス、マイク・スコットらが女性陣ふたりを加え10月はじめに来日。同じ10月、ハンマーダグシマを初めて日本に紹介したカレン・アッシュブルックが来日するのを機に、「ハンマーダグシマ」の歴史と今特集。9月28日に「第4回六甲ブルーグラス・タイムズ」を主催する神戸大学の木村周平。「ハットゥブレイブルーグラス」シリー

ズ3回目になる最新号では、「シラブルで弾く」ことは？ CD+DVDを発表した原さとし (bj) と竹内信次 (m) のトイメンシャオ。ネッシーエクスペディション 37 年目の渡米顛末記⑤ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3010 最新 2013 年 8 月号 (通巻 358 号) ¥525-

「ハウトゥープレイ・ブルーグラス」特集として、ブルーグラス楽器奏法のつかみ方を「岸本一遥のケニー・ベイカーから学んだこと」や「アールの日」のレポートを軸に特集。そのほか、奥 和宏「アメリカン・ルーツミュージック、ディスクでたどるアメリカ音楽史」、全国サイマル放送一覧表と FM はしもと「しもちゃんの“Bluegrass”でナイト」、学生プロフィール #7 は首都大学東京「山本南希」、人口 16 人の瀬戸内海での「斎島ブルーグラス」、ブルーリッジに本拠を置くマウンテン・フィーバー・レコード社、埼玉・狭山市の美食ブルーグラスレストラン「SOFT」、ネッシーエクスペディション 37 年目の渡米顛末記④ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3009 2013 年 7 月号 (通巻 357 号) ¥525-

第 26 回マールフェスレポート」ほか、ジョージ・ジョーンズ追悼「カントリーソング」後編、ジェイコブ・シャープ「ミブソ」来日!、菅沼工房 5 弦フィドル製作記⑥最終回、井上 高とホームタウンナイズ「50 年前に活躍したプロのブルーグラスバンド」後編、学生ブルーグラス・プロフィール #6 北海道大学「兼平愛弓」、日本ブルーグラス年表 #65「1977 年」ほか、ネッシーエクスペディション 37 年目の渡米顛末記③、1911 年ビル・モンローの生まれた日ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3008 2013 年 6 月号 (通巻 356 号) ¥525-

北海道の八雲フェス特集のほか、ジョージ・ジョーンズ追悼「カントリーソング」前編、ブルーサイド・オブ・ロンサムと坂本愛江、「Tri Barrel (トライバレル)」尾崎博志、古橋一晃、河合徹三、知っておきたい #2「新進気鋭のマンドリニストたち」、菅沼工房 5 弦フィドル製作記⑤、井上 高とホームタウンナイズ「50 年前に活躍したプロのブルーグラスバンド」前編、学生ブルーグラス・プロフィール #5 名古屋大学「山田遼一」、日本ブルーグラス年表 #64「1976-77 年」ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3007 2013 年 5 月号 (通巻 355 号) ¥525-

「フェスティバル・シーズン到来号」として、ブルーグラスフェスの歴史とウィンターグラス 2013 リポート後編のほか、ブルーグラス・リズムギター上達の近道、サードタイムアウト「ブルーグラスる!?(Bluegrassd)」, 知っ

ておきたいブラザーデュオ一覧、ケンタッキーのモアヘッド州立大学ブルーグラス科を訪ねた川合くんのすばらしいレポート、ネッシーエクスペディション米国ツアー顛末記②、学生ブルーグラスプロフィール #4「米澤 望 (酪農学園大)」, 菅沼工房 5 弦フィドル製作記④など特集ほか。

MS-3006 2013 年 4 月号 (通巻 354 号) ¥525-

今月久々に来日、東海道をバンジョー行脚するビル・キースの大特集後編、ジェリー・ガルシアやライ・クーダーらとの逸話など、1963 年のビル・モンローとブルーグラス・ボーイズの重厚な写真をカバーに、ウィンターグラス 2013 リポート前編、ネッシー・エクスペディション米国ツアー記①、ブルーグラス・アルバム・バンド・リユニオン、マイク伊藤「留学のススメ」、ロストシティキャッツ・リユニオン、菅沼工房 5 弦フィドル製作記③、学生ブルーグラスプロフィール #3「森山亮治 (大谷大)」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3005 2013 年 3 月号 (通巻 353 号) ¥525-

4 月に久々の来日、大阪、京都、名古屋、浜松、横須賀、東京でワークショップやコンサートをするビル・キースをカバーストーリーに、フルアルバム『Sailing Home』を発表し今月には全米ツアーをする女性トリオ、パイレーツ・カヌー、ハンク・ウィリアムズのセイクレッドソング解説、2012 年年発表レコード総括、菅沼工房 5 弦フィドル製作記②、学生ブルーグラス断簡その巻「松本捺美 (神大) と小形奈緒子 (東北大)」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3004 2013 年 2 月号 (通巻 352 号) ¥525-

ドプロのマイク・オールドリッジのカバーで追悼特集「ブルーグラスを変えたドプロ奏者」ほか、ブラザーデュオ秀作を発表した渡辺敏雄、かつてジューンアップル誌のスタッフだった菅沼利夫「5 弦フィドルへの道①」、ラジオ関西「カントリーミュージック・トラベル」が今年 20 年、950 回目を迎えている DJ 阿部和則のレポート、1946 年のブルーグラス誕生の年にオープリで出会った? ハンク・ウィリアムズとビル・モンローなどの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3003 2013 年 1 月号 (通巻 351 号) ¥525-

アール・スクラッグスの右手の表紙写真にメイン特集は、村片和彦のアール・スクラッグス奏法解析「俺、アールやもん」と、先月号の 50 年前のフラット&スクラッグス『カーネギーホール』で「マーサ・ホワイト!」を叫んだ本人の当時のレポート「アール・スクラッグス異聞」ほか、市川慎一郎のボジョアギター “Slope D”「バンジョーキラー」修理レポート、若手ドプロ宣言「ドプ

口だって主役!」、60年前の1953年1月1日にアパラチア山中で息を引き取ったハンク・ウィリアムズの最後の1年ドキュメント、フットヒル・ドライブ「アメリカツアー記」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

B.O.M. 厳選、詳細解説コーナー!

(新譜/旧譜関係なく、強力プッシュ作品の極私的詳細解説コーナーです)

■ブルーグラス詳細解説

MCM-0017 DEL McCOURY BAND 『Streets of Baltimore』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

Blues Rollin' In/Big Blue Raindrops/Amnesia/Butler Brothers/Misty/I Need More Time/Free Salvation/I Wanna Go Where You Go/I'd Love to Do Some Living/Streets of Baltimore/Once More with Feeling/Too Many Rivers/Only You. 全13曲

今年のIBMAで観た中で、ハッキリ言って「別格」のものすごいブルーグラスを聴かせてくれたデル・マッカーリー・バンドの最新作はこのところ如実に感じる1960年代のフラット&スクラッグス後期(多くの人は50年代のフラット&スクラッグスをサイコーと言うが、わたしはポップな60年代派なのだ!)の、あの充実感だ。10年ぶり、4度目のIBMA最優秀フィドラーを獲得したジェイソン・カーターのフィドルが泣き叫ぶ中、いまやクールなサウンドクリエイターのロニー(md)と相変わらずの「やったるでえ」精神のロブ(bj)のマッカーリー兄弟にアラン・パートラム(bs)といった不動のDMB。

ジョン・ハートフォードの良き理解者だったトム・ポール・グレイザーと巨匠ハーラン・ハワードというカントリーソングライターの1966年作品(グラム・パーソンズ)をタイトル曲に選び、スタンダード曲“Misty”をレイ・スティーヴンスのカントリーバージョンではなくデルのブルーグラスにしてしまう、そしてサードタイムアウトがアカペラで絶唱した“Only You”(プラターズ1955年ヒット)を誰もが思い付きそうなツービートブルーグラスにしてしまう強引さと呼べる魂……。かとおもえば、チョットとブギウギなピアノを導入したクリス・クリストファーソンとシェル・シルバースタインという強力コンビ作品のホンキートンクカントリーソングでもかつての“Don't Stop the Music”同様、ハイロンサムを感じてしまうし、巨匠ハーラン・ハワードのカントリーソングなど、そのまま(声は違えどそのポップにして包容力のある精神は)レスター節だ。

9度のIBMAアワード最高賞エンターテイナー受賞という前人未到の記録を残した2004年以来、バンドと

しては無冠であるが、2005年以降の今年の受賞者まで——チェリーホームズ、グラスカルズ2回、デイリー&ビンセント3回、ステイブ・マーティン&ステイブ・キャニオン・レインジャーズ、ギブソン・ブラザーズ2回——どのバンドもそれぞれに素晴らしく値打ちがあるが、圧倒的に「格」が違うデル・マッカーリー・バンド。その「格」は、なんといっても1963年、ちょうど50年前にビル・モンローに雇われたデル・マッカーリー、ビル・キースとのバンジョーのダブルブックイングだったものの、いち早くデルの才能を見抜いた……のか、単に取り繕ったのか……ビル・モンローの助言によるコンバートというチョイスであり、そののちのデルの心底ブルーグラスを愛しつづけた歴史だ。しかし、誰もがトラッド/ソリッドグラスの権化というが、その実はフツの音楽好きじゃないか? ニューグラスファンの息子ロニーの幅広い音楽性とデルのやわらか頭が結実したとても楽しい、現在最高峰のブルーグラスである。

前作、2011年のビル・モンロー生誕100年記念のビル・モンロー曲集『Old Memories』(MCM-0016 ¥2,573-)も必携の充実盤です!!

REB-1854 JUNIOR SISK & JOE MULLINS 『Hall of Fame Bluegrass!』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

Wild Mountain Honey/The Bluebirds are Singing for Me/I'll be There, Mary Dear/Brand New Shoes/I'll Drink No More Wine/I'll Never Make You Blue/I'm So Happy/No Blind Ones There/Greenville Trestle High/Don't Let My Love Get in the Way/Single Girl, Married Girl/No Doubt About It/They Can't Love Jesus More Than Me. 全13曲

もうこの選曲を見ただけでノックアウト! オズボーンとレッド・アレンの1曲目から、マック・ワイズマン、ビル・クリフトン、ビル・モンロー、ジミー・マーティン&ポール・ウィリアムズ、チャーリー&カーリー・レイ・クライン(ロンサムパインフィドラーズ、フランク・ウェイクフィールド)、ドン・レノ、J.D.クロウ、ドック・ワトソン、デル・マッカーリー、カーター・ファミリー、フラット&スクラッグス、ジム&ジェシーのIBMA名誉の殿堂入りした13組の渋いシブイ13曲をカバー。

演じるのはランブラーズ・チョイスを率いてヒット曲“A Far Cry From Lester & Earl”で2012年のIBMA最優秀ソングとアルバムを獲得して男泣きしたジュニア・シスク、さらに今年はIBMA最優秀男性ボーカル受賞でまた泣いてしまった……、そのまんまアパラチアン純情を絵に描いたような誠実な人なんだろう。そしてテナーとビッグバンジョーには、去年のIBMA最優秀新

人賞と今年の最優秀ライナーノーツに選ばれたジョー・マリンズ。父はフィドラーとして、またブルーグラスDJとして知られ、ラルフ・スタンレーの名曲“Katy Daley”の作者ポール・マリンズで、現在は父の遺志を継いでオハイオでラジオ局を経営、昔ながらのクラシックカントリーとブルーグラスを流している。そのバンジョーはスクラッグスをベースに、そこから止めどなく発展させようという意思を持ったタイプ、つまり発露は異なるがソニー・オズボーン流の、もちろんドン・レノもこなすビッグバンジョー。

バージニアのブルーリッジど真ん中出身のジュニアとオハイオ・ブルーグラス（アパラチアより濃い!?）の伝統を継ぐジョーのふたりに、ジェイソン・カーターの入魂感情炸裂フィドル、ジェシ・ブロックの頭脳マンドリン、そしてマーシャル・ウィルボーンの落ち着いたベース。ジュニアとジョーのデュオをメインに曲によってはトリオやカルテットもある。まさに知る人ぞ知る「夢」の「これがアーリーグラスだ!」協演、ストレートなブルーグラスファン必携作品!!

ROU-9134 JAMES KING 『Three Chords and the Truth』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

The Devil s Train/Jason s Farm/Chiseled In Stone/Highway To Nowhere/Talkin To The Wall/He Stopped Loving Her Today/Blue Blue Day/Riding With Private Malone/Things Have Gone To Pieces/Sunday Morning Christian/Shadows Of My Mind/Old Five And Dimers.

おそらく、もっともカーター・スタンレーに近いセンスの塊、むき出しの感情を身にまとっていると言われるジェイムズ・キングの最新作。おそらく、もっとも21世紀のトラッドグラス直系サウンドを体現していると思われるロン・スチュワート (bj)、ジョッシュ・ウィリアムズ (g)、ジミー・マッティングリー (f)、ジェシ・ブロック (m)、ジェイソン・ムーア (bs) がすごいテンションで演じ、おそらく、もっともブルーグラスのソウルをしばり出すと言われるダドリー・コンネル（バリトン）とドン・リグズビー（テナー）のハーモニーを伴った超ハードドライビング・ソリッドグラス。ハッキリ言って、そのむき出しの感情に見るように、現代社会には馴染まない性格の持ち主のようだが、そのあくの強さが深い説得力を生むのは、天才的シンガーにはよくあること……、稀代の「ブルーグラス・ストーリーテラー」と称されるジェイムズ。

ハンク・ウィリアムズの1949年作品“The Devil s Train”を1曲目に、今年亡くなったジョージ・ジョーンズの代表作でもっとも偉大なカントリーソングと言わ

れる“He Stopped Loving Her Today”（ムーンシャイナー誌のジョーンズ追悼特集「カントリーソングス」でとりあげた曲）や“Things Have Gone to Pieces”、カントリーガゼットも取り上げたドン・ギブソンの“Blue Blue Day”ほか、ハーラン・ハワード、バーン・ゴズディン、レオン・ペイン、カル・スミスなど、カントリーソングの巨匠たちの作品を見事にブルーグラスソングとして「語る」ジェイムズ・キングの最新12曲集。ブルーグラスの伝統的なサウンドを踏襲しつつ、21世紀にも通じるサウンドを楽しませてくれる秀作である。

HMG-1011 DONNA ULISSE 『I Am A Child of God: A Gospel Collection』 CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

I Am a Child of God/Walk This Mountain Down/Wait a Little Longer Please Jesus/I Want to Grow Old With You/Everything Has Changed/My Prayer/Faith Is a Journey/The Key/This Is My Father's World/I'm Calling Heaven Down. 他全10曲

癖のない若々しいキュートなボーカルに、ナッシュビルの超一級ブルーグラス職人たちが創る女性ボーカル・ブルーグラス秀作を発表してきたドナ・ユリッシー、ブルーグラスとしての最新第6作目である。1991年、アトランティックからメジャーデビューして小ヒットを放ったのち、ブルーグラスに転向している。10代でウエスタン・スウィング・バンドのシンガーとなった彼女にブルーグラスを紹介したのは夫のリック・スタンレー、カーターとラルフの従兄弟だという。「結婚式でラルフ・スタンレーとクリンチマウンテンボーイズが演奏したのだけれど、そのチケットの問い合わせが来たの。わたしはラルフがそんなに有名だって、ぜんぜん知らなかったの」というドナ。そこから夫とともに、最初のジャムで“How Mountain Girls Can Love”のハーモニーを唄わされ、この歌詞の正直さと音楽の真摯な姿勢に打たれ、ブルーグラスの魅力にはまっていったという。それ以降、ゴスペルを中心にオリジナルを書き続け、ソングライターとしてIBMAアワードにノミネートされる実力を発揮、クレア・リンチやバンケスターズ、ダリン&ブルック・オールドリッジやニューブルーほかドナの曲を取り上げている。本作ではキース・ソウェル（リッキー・スキャッグス&ケンタッキーサンダー、ディキシークラックス、ライル・ラベット、アール・スクラッグスほか、またフラットピッキングギター誌でコラムも担当）と、曲によってはブライアン・サットンというふたりのスーパーギタリストをプロデューサーに、アンディ・レフトウィッチ (m,f)、スコット・ベスタル (bj)、ロブ・アイクス／ラ

ンディ・コーアズ (d)、ピクター・クラウス／バイロン・ハウス (bs) という、これまでのアルバム同様、気心の知れたスタッフが現在一級のサウンドを創っていく。

COBB-2013 SHAD COBB & CHARLIE CUSHMAN 『Out of These Mountains』
CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

Little Birdie/New Five Cents/My Home's Across the Blue Ridge Mountains/Pretty Polly/Lonesome Road Blues/This Old House Waltz/Will the Circle Be Unbroken/Shady Grove/Rank Stranger/Susanna Gal/When Sorrows Encompass Me 'round/Cora Is Gone/Shout Little Lulie/Star of the County Down/Sourwood Mountain. 全 15 曲

ふたりのナッシュビルブルーグラスの、もっとも信頼されるフィドルとバンジョー奏者によるアパラチア伝承音楽集。『シンプルライフ』と言うとはほぼ季刊雑誌の編集長の企画ものということで、例えば素晴らしいオールドタイム乗りの二曲から唐突にフラット&スクラッグス乗りブルーグラスとか、アルバム全体のまとまりをやや欠くが、そこはこのふたり、それぞれの楽器ファンにはたまらない値打ちものだ。

「天才」と多くのナッシュビリアンが絶賛するシャッドのフィドルの信じ難いタイミングと素晴らしいノリは、実はここで自身が多重録音するクロウハンマーバンジョー由来の、つまりブルーグラスの原点であるオールドタイム音楽のストリングバンドのノリをベースにしているからではないだろうか？ だからこそ、ジャズやクラシックなどの影響の濃いテクニカルなスーパーフィドラーよりも一聴しただけで高い評価を得たことが如実に分かるはずだ。ウイスコンシンという、アパラチア山脈から遠く離れた土地で13歳からフィドルを弾き始め、弟のジェシー・コップ（ストリングダスターズ）とともに父から学んだブルーグラスとオールドタイム音楽が身に染み込んでいるのだと言う。我々と同じ、アパラチアから遠く離れているがゆえなのかもしれない……。

一方のチャーリー、テネシー州クラークスビルでフラット&スクラッグスのTVショーを見てから学校に通ったという環境で7歳からバンジョーを弾き始め、14歳でプロフェッショナルとして活躍、同時にバンジョーセットアップの達人としても知られている。スリーフィンガーが彼の血肉であり、その点、シャッドよりも音楽に対するパッションがややクールという印象を持ってしまう。つまり、身近にアールが居た幸せは、分かっているとは思いうけれど、それが普通だったチャーリーにはそんなクールな印象がある。……単なるジェラシーか？

アパラチアに伝わった伝承音楽をその雑誌『シンプルライフ』のイメージに沿って演奏するそんな二人、その音に対する反応は、コンセプトにかかわらず、ただいつものように誠実に演じるだけだろう……!? とても素晴らしい楽器の音と、二人のトップセッションマンの音楽に対する姿勢を楽しみたい。

SMM-1008 ALICE GERRARD 『Bittersweet』
CD¥2,573-(本体 ¥2,450-)

Lonely Night/Bittersweet/Sweet South Anna River/Tell Me Their Story/Somebody Have Mercy/Maybe This Time/Unexpected Love/Borderland/The Stranger/Play Me a Song I Can Cry To/Payday at the Mill/My Once True Love/Sun Keep Shining on Me. 全 13 曲

最高のアコースティック・ミュージシャン、ブライアン・サットン (g)、ステュアート・ダンカン (f)、トッド・フィリップス (bs)、ロブ・アイクス (d)、トム・ロザム (m) をバックに、アパラチアンバラッドからブルース、軽いスウィング、そしてホンキートンクなど、「正味」の女性ボーカルを聴かせてくれるアリス・ジェラードのソロとしては第3作目の最新作。ジャンルに無関係な、それでも自身が背負ったアパラチアのムード一杯の、例えば、エリザベス・コットン（フォークブームで大ヒットした"Freight Train"の作者。1893-1987）が、「死んだときには土に埋められるよりも、友人たちが岸に並んで見送られるように川に流されたい……」と言ったことや、トミー・ジャレル（現代オールドタイムを支える人たちに大きな影響を残したノースカロライナのフィドラー／バンジョー奏者。1901-1985）の家でジャムをしていたときにやって来たご近所さんが、「何か泣ける曲を頼むよ」と言ったことなど、アリスが人生の中で印象に残った言葉や光景を曲にしたという10曲の新曲と3曲の再録。

1960年代初頭、ビル・モンローの強力な後押しでヘイゼル&アリスとして、初の女性ハイロンサム・サウンドを提示。それは1970年代以降、本作のプロデューサーでもあるローリー・ルイスをはじめアリソン・クラウスまで、女性ブルーグラスの隆盛の基礎を創ったといわれるコンビだった。ウエストバージニアの炭鉱出身のヘイゼル・ディッケンズ(1935-2011)に対して1934年、西海岸のシアトルでクラシック音楽家のお嬢様!?として生まれ育ったアリスは、オハイオ州のアンティオーク大学(1960年、オズボーンブラザーズが史上初めて大学でのブルーグラスコンサートをした)でブルーグラスと出会っている。1965年、75ドルの予算でデビッド・グリスマン／チャビー・ワイズ／ラマー・グリアらと録音し

たデビュー作以来、ヘイズル&アリスとしての5枚のアルバム（うち1枚はフォークウェイズ録音集『Pioneering Women of Bluegrass』¥2,573-）は、ブルーグラス／ハイロンサムを女性として昇華した作品であると同時に、南部アラバマの女性が置かれている苦しい立場を代弁する作品として多くの女性たちに勇気を与えてきた。

1960年代後半にマイク・シーガーと結婚、1970年12月には日本ツアーしている（日本ツアーでのライブ音源を含むマイク・シーガーとのアルバム『Bowling Green』¥2,573-在庫あり）。1970年代のヘイズル&アリスは、カーターファミリーなどのトラッドフォークやクラシックカントリーなども取り入れ、ヘイズルの"Working Girl Blues"などと並んで、アリスの女性差別を強力に風刺した"Custom Made Woman Blues"などブルーグラス／オールドタイムの男社会に強烈なメッセージを届けている。カントリーの大スターとなったザ・ジャッツのナオミは、ケンタッキーの赤貧生活から女性力で立ち上がる時、「ヘイズルとアリスがわたしたちにどうすべきかを教えてくれた」と賞賛している。

1987年から2003年まで、オールドタイム音楽の季刊誌『Old Time Herald』の編集長としてアメリカ伝承音楽の発掘と保護に大きな貢献を残している。79歳とはとても思えない、偉大な功績を残した、すばらしくかわい人の素敵なソロアルバムだ。女性ブルーグラス／オールドタイム／フォークを志す人やファンには是非聴いていただきたい秀作だ。

■インスト詳細解説

ROU-0638 V.A. 『Foggy Mountain Special: A Bluegrass Tribute to Earl Scruggs』 CD¥2,543- (本体 ¥2,450-)

Flint Hill Special/Reuben/Foggy Mountain Special/Randy Lynn Rag/Sally Goodin/Pike County Breakdown/Foggy Mountain Rock/Nashville Skyline Rag/Earl's Breakdown/Steel Guitar Rag/Ground Speed/Foggy Mountain Breakdown.

2012年3月28日、88歳で亡くなったアール・スクラッグスに捧げられた、現在トップバンジョイストたちの新録音企画作品。

言うまでもなく、現在あるブルーグラスという音楽スタイルの基をビル・モンローとともに創り上げたもっとも重要な偉人アール。ブルーグラスとは何か？……それは、音楽的には例えば「完璧にコントロールされたスリーフィンガーから編み出される一音一音をすべて認識し、その三本指（三拍子）が早いツービート（2/4拍子）と

出会ったアフリカ由来のポリリズム（複数の異なるリズムが同居することで西洋音楽にはない概念）から発生するシンコペーションを、すべての演奏者／リスナーが感得すること」である、とすれば、それはアールでなければ産み出せなかったものであり、ビルとアールが会わなければあり得なかったものだろう。

そんな偉大なアールを尊敬する12人、デビッド・タルボット、ジム・ミルズ、ロン・ブロック、チャーリー・クッシュマン、ラリー・パーキンズ、ロン・スチュワート、トム・アダムズ、J.D. クロウ、ジョー・マリンス、トニー・トリシュカ、ケニー・イングラム、クレイグ・スミスの12曲、あえて言えば、アールの時代（1950～60年代）よりも社会的に煮詰まっている21世紀、それぞれのアールへの思いを込めた素敵な12曲。バックにはロン・スチュワートのフィドル（そのバックで何を弾くか？も大きなポイントだよ）、マンドリンはアダム・ステッフィまたはダン・ティミンスキ、ランディ・コーアズのドブロ、そしてレスターの偉大さがつくづく分かるコーディ・キルビー、ダン・ティミンスキ、クレイ・ヘス、ワイアット・ライスらのギターにデニス・クロウチまたはバリー・ペイルズのベース。アールが創造したバンジョー世界にさまざまな表現者が挑む、チョー楽しい、お勧めのバンジョーアルバム。

■オールドタイム／フォーク詳細解説

HCL-002 HEIDI CLARE & RON THOMASON

『Bygone Days』 CD¥2,573- (本体 ¥2,450-)

Sally Goodin/Coal Tattoo/Fox Chase/Sweetest Gift, a Mother's Smile/Meriweather/Sugar in the Gourd/To Daddy/Toin' to Town/Singing As We Rise/Everybody's Reaching Out for Someone/Turkey in the Straw/Happy Endings/New Money/Perle of Them All/Cowboy Waltz/Sally Goodin. 全16曲

ブルーグラス学科のある州立大学として知られる東テネシー州立大学(ETSU)出身のオールドタイム・ストリングバンドで、ニコール・キッドマン主演のアカデミー受賞映画『コールドマウンテン』のサントラ盤に抜擢されたリールタイム・トラベラーズの女性フィドル奏者ハイジ・クレア。前作『I Declare』(HCL-001 ¥2,573-)でのクリス・シャープ(g)やロイ・アンドレド(bj)などのストリングバンド、エド・スナッダリーのブルースギターとのソウフルで近寄り難いゴスペルなども強い印象で残っているが、本作でもその強力なはじけそうなフィドルとメチャクチャ愛らしいのに不思議な魔力を感じさせるようなボーカルは健在。相方に、スタンレー

ブラザーズの熱狂的フォロワーでフランク・ウェイクフィールドの系譜を継ぐ哲学的なヒルビリー論者!?であり、カリスマ的司会者にして「へたうま」の代表ロン・トーマソンのマンドリン、ギター、クロウハンマーなどと味わい深いボーカルを据えている。

そんなふたりがアパラチアン・オールタイムの真髄であるフィドルチューンを極めつつ、ドリー・パートン「To Daddy」やコックスファミリーとアリソン・クラウスの「Everybody's Reaching Out...」、アール・トーマス・コンリーとエミルー・ハリスの「Happy Endings」などのポップな曲から、ブラザーデュオ名曲「Sweetest Gift」やギブソンブラザーズへのヒット曲やマイク・コンプトンの相方として知られるジョン・ニューベリー「Singing As We Rise」など7曲の歌物を聴かせる。この録音を通して尋常ではない内に秘めたインパクトを感じさせるふたり、音楽の持つ「生々しい」の本物の「ちから」をストレートに聴かせる大秀作である。

■カントリー詳細解説

ROU-9179 MANDY BATNETT 『I Can't Stop Loving You:The Song of Don Gibson』 CD¥2,888-(本体 ¥2,750-)

(Yes) I'm Hurting/Too Soon to Know/Look Who's Blue/Sweet Dreams/Just One Time/Blue Blue Day/Oh Lonesome Me/Oh Such a Stranger/Far Far Away/I Can't Stop Loving You/Lonesome Number One/Legend in My Time. 全12曲

パッツィ・クラインを思わせるポップな熱唱と、現在ナッシュビルが創る21世紀のナッシュビルサウンドが見事に絡み、カントリーというよりはスタンダードポップを思わせる素晴らしい作品に仕上げたマンディ・バーネットは1975年、テネシー州カンバーランド郡クロスビルの生まれ。12歳のときにオープリーでパッツィ・クラインの「Crazy」を歌い注目を浴び、大物プロデューサーのジミー・ボウエンと契約、その庇護下で学び、高校卒業とともにナッシュビルに出て、10代にしてパッツィ・クラインのミュージカル『Always...Patsy Cline』に主演、20歳でアサイラムからメジャーデビューしている。60年代にナッシュビルサウンドを確立した超大物プロデューサー、オウエン・ブラッドリーの最後の作品として1999年に『I've Got a Right to Cry』を発表、その年のローリングストーン誌がトップカントリー作品に選んでいる。しかしそののち、ソロアルバムには恵まれず、2010年に今回同様、米国外食チェーン「クラッカーバレル」のみで入手可能なクリスマス集を発表、また2011

年には、10代のときに演じたミュージカル『Always...Patsy Cline』にふたたび主演してアルバム『Sweet Dreams』を発表している。

ひょっとすると、あまりにパッツィ・クラインのイメージが強すぎて、マンディ・バーネットとしてのヒットのチャンスを逃したのかもしれないが、誰もが認めるその歌唱力は、21世紀のナッシュビルサウンドとともに本作でもいかに発揮されている。

本作で取り上げられたドン・ギブソン曲集は、マンディのポップな歌声にぴったり。ドン・ギブソン(1928-2003)はアール・スクラッグスと同じ、ノースカロライナ州シェルビー生まれ。今年アールの生家を訪ねたとき、ついで(失礼)にお墓参りもしてきた。アールの4歳下だから、どこかで行きかっていたのかもしれないと考えるだけで嬉しくなってくる。アール同様、貧しい家庭で育ったというが、このふたりのポップセンスはどこから来るのか? おそらく奥深いアパラチアの南端に広がるビードモントと呼ばれる明るい地方で、大衆(ポップ)音楽が耳に入る地域だったことがふたりに幸いしたのかもしれない。1956年、のちにパッツィ・クラインやエミルー・ハリスが有名にする「Sweet Dreams」でデビュー、翌年の2曲目「Oh Lonesome Me」がナンバーワンヒット、つづいてレイ・チャールズがカバーして世界的ヒットとなり、かつ白人音楽と黒人音楽を結びつけた「I Can't Stop Loving You」、つづく4曲目にはプレスリー「ハートブレイクホテル」で火が点いた折からのロカビリーブームを思わせる「Blue Blue Day」などを立て続けに発表。カントリー音楽に大きな功績を残したドン・ギブソンの名曲が、パッツィを思わせるマンディによって、21世紀のナッシュビルサウンドとともに歌われる、なんとも贅沢なアルバムである。

B.O.M. ご利用方法

ビー・オー・エムのニューズレターは会員制ではなく、商品の定期購買者に無料でお届けしています。一定期間、弊社からの商品のお買上げがない場合、勝手ながらレターの発送をストップさせていただきますので、ご了承下さい。

- 1). このニューズレターで紹介する商品は、ニューズレター発行時点で、すべて在庫しています。
- 2). ハガキやお電話、ファックス、Eメール等で、封筒のお名前の下に6桁お客様コード番号とお名前と共に、ご希望の商品コードをお知らせ下さい。
- 3). 通常ご注文から1週間以内にはお届けします。ただ、レター掲載時には十分な在庫を心掛けていますが品切れ

になった場合、再入荷を期して発送が遅れる場合もありますのでご了承ください。

4). 基本送料は下記の通りです。

CD/DVD 全国均一、1 枚 ¥180-、2 枚 ¥210-、3 枚以上、もしくは ¥8,000- 以上お買い上げの場合、送料全国無料!! (ただし、特定地域、特定商品などについては、別途加算場合があります。お問い合わせ下さい)

5). お支払は、品物を受け取られてから 1 週間以内に同封請求書（代金 + 送料 + 消費税）をご確認の上、郵便振替や銀行振込でお願いします。

●郵便振替 = 01160-8-74352

●三井住友銀行・宝塚支店 = 普通 1229492

●池田泉州銀行・宝塚支店 = 普通 2330116

(株)ビー・オー・エム・サービス 宛て

●ジャパンネット銀行 本店営業部（ホンテン）

普通預金 店番号 - 口座番号 001-1340424 カ) ビーオーエムサービス

●クレジットカード払いをご希望の方は PayPal を通じてお支払いいただけます。e-mail で請求書及びお支払い URL をお送りしますのでご注文の際毎にお申し出下さい。また Visa, Master Card, AMEX でのお支払いはご注文時に電話でお伺いすることもできますのでお問合せください。

(株) ビー・オー・エム・サービス

●〒 665-0842 兵庫県宝塚市川面 6-5-18

●tel.0797-87-0561

(営業時間：月～金の午前 10 時～午後 5 時。なお祝日は休みをいただきます)

●fax.0797-86-5184(24 時間)

●<http://www.bomserv.com/>

●E-mail : info@bomserv.com

ビー・オー・エム・サービスのホームページでは随時、最新入荷案内やニュースを更新しています。ニューズレター、在庫リスト、ムーンシャイナ―誌バックナンバーなども紹介しています。最新情報の更新案内をメールでご希望の方はお申し出ください。